| | l | | 1 | |
|--|---|--|--|--|
| 学期 / Semester | 2024年度/Academic Year 前期 /First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月/Mon 5 | |
| 開講期間 / Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | | |
| 必修選択/Required / Elective | 必修,選択,自由/required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 | |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003044 | 科目番号 / Course code | 05810030 | |
| 科目ナンバリングコード/Numbering code | GEFY 15021_001 | | | |
| 授業科目名/Course title | - 初年次セミナー(医・保・歯合同)/First-Year Seminar | | | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | | 田 愛/Higashijima Ai, 原田 亜 加奈子/Matsumoto Kanako, 北島 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 三浦 清徳/Miura Kiyonori | | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s) | | 田 愛/Higashijima Ai, 原田 亜 加奈子/Matsumoto Kanako, 北島 | | |
| 科目分類/Course Category | 教養ゼミナール科目,教養ゼミナ | ール科目,大学院科目[構造],自由 | 選択科目/Elective Courses | |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態/Course style | 演習/Seminar | |
| 教室/Class room | 学部問い合わせのこと | | | |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | 医学科・保健学科・歯学科1年生 | | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | 三浦清徳 kiyonori@nagasaki-u.a | ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Office | 大学病院外来棟11階 産婦人科医 | 局 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-7363 | | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 平日 17:00~17:30 | | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | | ループによる多職種連携学習を行う。 互いを学び、互いから学ぶとともに | | |
| 授業到達目標/Course goals | ンテーション、レポートなどの基 4)医療に携わる者として必要な 要なマナーを習得する。 | て、問題抽出・解決能力や情報収集本的学習技能を習得する。 コミュニケーション能力とともに良 を理解し、リーダーシップ、フォロ | 好な人間関係を築くために必 | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 | | | III 67 / Undorotonding | |
| しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | Diversity 土体性 / Autonomy | | 理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | degree of comprehension of the B.多角的に考えるために他者と various perspectives C.技能修得のために実践する活 D.問題解決のために知識を総合 utilize knowledge to solve prol E.上記以外の学生の思考の活性 students' thinking other than | 化を促す授業手法 / Teaching (| ink over Iving others to think from for acquiring skills s that comprehensively methods to stimulate | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | ン課題(10点)+レポート課題(19 とする。 | = 35点) + 予習復習課題(5点×7回 5点) + 授業への取組み(5点)=合記 | | |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | | |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | 復習 テキストとレジュメを再読 | し、理解を確実にするよう努めるこ | と。(2h) | |
| キーワード/Keywords | 多職種連携、生命、健康、医療、 | 福祉、介護、地域包括ケア | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 配布資料・PubMed・医中誌などの | 文献 | | |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | | | | |

| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948(E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
|--|---|--|--|
| 備考/Remarks | | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ | | |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | Υ | | |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course | 三浦清徳、原田亜由美、梶村慈、長谷川ゆり、北島百合子、川下さやか、松本加奈子/産婦人科の臨床・研究・教育の経験に基づき、本セミナーの課題設定、情報収集、スライド作成、プレゼンテーションの方法について指導する。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 4月8日 16:30 | 総論(対面) 担当:三浦清徳 | | |
| 第2回 4月15日 16:30 | グループディスカッション (対面) 子宮頸癌の原因・診断・予防 担当:原田亜由 | | |
| 第3回 4月22日 16:30 | グループディスカッション(対面) 子宮頸癌に対する治療 担当:原田亜由美 | | |
| 第4回 4月23日 | 情報収集ガイダンス(対面) 担当:図書館職員 | | |
| 第5回 5月7日 16:30 | グループディスカッション(対面) 不妊症とその治療法 担当:梶村慈 | | |
| 第6回 5月13日 16:30 | グループディスカッション(対面) AYA世代の生殖補助医療 担当:梶村慈 | | |
| 第7回 5月20日 16:30 | グループディスカッション(対面) 妊娠・分娩の正常 担当:長谷川ゆり | | |
| 第8回 5月27日 16:30 | グループディスカッション(対面) 妊娠・分娩の異常 担当:長谷川ゆり | | |
| 第9回 6月3日 16:30 | グループディスカッション(対面) 女性のライフステージと産婦人科 担当:北島百合子 | | |
| 第10回 6月10日 16:30 | グループディスカッション(対面) 外科的閉経の影響とその治療 担当:北島百合子 | | |
| 第11回 6月17日 16:30 | グループディスカッション(対面) HPVワクチン 担当:川下さやか | | |
| 第12回 6月24日 16:30 | グループワーク(対面) まとめ1 担当:松本加奈子 | | |
| 第13回 7月1日 16:30 | グループワーク(対面) まとめ2 担当:松本加奈子 | | |
| 第14回 7月8日 16:30 | グループワーク(対面) 振り返り 担当:松本加奈子 | | |
| 第15回 7月16日 | 発表会 | | |

| | I | | | | |
|---|--|--|---|--|--|
| 学期 / Semester | 2024年度/Academic Year 前期 /First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月/Mon 5 | | |
| 開講期間 / Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | | | |
| 必修選択 / Required / Elective | 必修,選択,自由/required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 | | |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003045 | 科目番号 / Course code | 05810030 | | |
| 科目ナンバリングコード/Numbering code | GEFY 15021_001 | | | | |
| 授業科目名/Course title | 初年次セミナー(医・保・歯合 | 初年次セミナー(医・保・歯合同)/First-Year Seminar | | | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 原 哲也/Tetsuya Hara | | | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 原 哲也/Tetsuya Hara | | | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s) | 原 哲也/Tetsuya Hara | | | | |
| A目分類 / Course Category | | 11 秋日 一十卷胶秋日 [排选] 一百五 | 選出利日 / Clastive Courses | | |
| | 教養セミノール科目,教養セミノ 1,2,3,4 | ール科目,大学院科目[構造],自由: | 選択科目 / Elective Courses 演習 / Seminar | | |
| 対象年次 / Intended year | | 講義形態/Course style | 演者 / Seminar | | |
| 教室/Class room | 学部問い合わせのこと | | | | |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | 医学科・保健学科・歯学科1年生 | | | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | tetsuya@nagasaki-u.ac.jp | N #6-1-172 Pm | | | |
| 担当教員研究室/Office | 長崎大学病院中央診療棟4階麻酔科 | 科教授至 | | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-7370 | | | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 9時から17時30分 | | + | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | | ループによる多職種連携学習を行う。 互いを学び、互いから学ぶとともに | | | |
| 授業到達目標/Course goals | 2)科学的な思考能力や立案能力 3)学習テーマの課題遂行を通し ンテーション、レポートなどの基 4)医療に携わる者として必要な 要なマナーを習得する。 | て、問題抽出・解決能力や情報収集本的学習技能を習得する。 コミュニケーション能力とともに良 を理解し、リーダーシップ、フォロ | 、ディスカッション、プレゼ 好な人間関係を築くために必 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competen Diversity 主体性 / Autonomy | ce 倫理観 / Ethics 多様性の | 理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 derious perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 definition of the contents to the lesson or to think over Activities involving others to think from the various perspectives C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 definition of the comprehensively of lectures from teachers E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Students' thinking other than the above アクティブラーニング F.教員からの講義のみで構成される F.教員からの講義のみで構成される Stript of the contents of the lesson or to think over the contents of the con | | | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 収集状況・分析など),プレゼンテ | 方やディスカッション(初年次セミナ ーション(わかりやすい資料,話の構 評価し,最終的な成績評価は「合」「 。 | 成,説得力など),レポート(構 | | |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | | | |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | 1回あたり合計1時間の事前・事後。 | 学修を必要とする。事前と事後の時 | 間配分は学修者の任意とする | | |
| キーワード/Keywords | 。 多職種連携、生命、健康、医療、 | 福祉、介護、地域包括ケア。 | | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | | で情報を収集する。教科書は指定した | | | |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | | | - | | |
| CHEST (INC. SALL) / TOTO QUITO TOO | I | | | | |

| はい。 | | |
|--|--|--|
| 学生へのメッセージ/Message for students | アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 |
| ### ### ### ### ##################### | 備考/Remarks | |
| Y | 学生へのメッセージ/Message for students | |
| 育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course (として、) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本 | 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | Υ |
| 回(日時) / Time(date and time) 授業内容 / Contents 対面: 17時集合 オリエンテーション 対面: 内容は学生と相談後に決定 対面: 内容は学生と相談後に決定 対面: 内容は学生と相談後に決定 対面: 内容は学生と相談後に決定 第4回 / 4月23日 資料収集ガイダンス: 長崎大学図書館医学分館(長崎市坂本町) 第5回 / 5月7日 対面: 内容は学生と相談後に決定 第6回 / 5月13日 対面: 内容は学生と相談後に決定 第7回 / 5月20日 対面: 内容は学生と相談後に決定 第8回 / 5月27日 対面: 内容は学生と相談後に決定 第9回 / 6月3日 対面: 内容は学生と相談後に決定 第10回 / 6月10日 対面: 内容は学生と相談後に決定 第11回 / 6月17日 対面: 内容は学生と相談後に決定 第12回 / 6月4日 対面: 内容は学生と相談後に決定 第13回 / 7月1日 対面: 内容は学生と相談後に決定 第14回 / 7月8日 対面: 内容は学生と相談後に決定 | 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course | 臨床医の経験をふまえて、医歯薬共修・多職種連家の重要性および実践についての理解を深める機 |
| 第1回 / 4月8日 対面: 17時集合 オリエンテーション 第2回 / 4月15日 対面: 内容は学生と相談後に決定 第3回 / 4月22日 対面: 内容は学生と相談後に決定 第4回 / 4月23日 資料収集ガイダンス: 長崎大学図書館医学分館(長崎市坂本町) 第5回 / 5月7日 対面: 内容は学生と相談後に決定 第6回 / 5月13日 対面: 内容は学生と相談後に決定 第7回 / 5月20日 対面: 内容は学生と相談後に決定 第8回 / 5月27日 対面: 内容は学生と相談後に決定 第10回 / 6月10日 対面: 内容は学生と相談後に決定 第11回 / 6月17日 対面: 内容は学生と相談後に決定 第11回 / 6月17日 対面: 内容は学生と相談後に決定 第13回 / 7月1日 対面: 内容は学生と相談後に決定 第13回 / 7月1日 対面: 内容は学生と相談後に決定 | 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 第2回 / 4月15日 対面:内容は学生と相談後に決定 第3回 / 4月22日 対面:内容は学生と相談後に決定 第4回 / 4月23日 資料収集ガイダンス:長崎大学図書館医学分館(長崎市坂本町) 第5回 / 5月7日 対面:内容は学生と相談後に決定 第6回 / 5月13日 対面:内容は学生と相談後に決定 第7回 / 5月20日 対面:内容は学生と相談後に決定 第8回 / 5月27日 対面:内容は学生と相談後に決定 第9回 / 6月3日 対面:内容は学生と相談後に決定 第10回 / 6月10日 対面:内容は学生と相談後に決定 第11回 / 6月17日 対面:内容は学生と相談後に決定 第12回 / 6月24日 対面:内容は学生と相談後に決定 第13回 / 7月1日 対面:内容は学生と相談後に決定 第14回 / 7月8日 対面:内容は学生と相談後に決定 | 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第3回 / 4月22日対面:内容は学生と相談後に決定第4回 / 4月23日資料収集ガイダンス:長崎大学図書館医学分館(長崎市坂本町)第5回 / 5月7日対面:内容は学生と相談後に決定第6回 / 5月13日対面:内容は学生と相談後に決定第7回 / 5月20日対面:内容は学生と相談後に決定第8回 / 5月27日対面:内容は学生と相談後に決定第9回 / 6月3日対面:内容は学生と相談後に決定第10回 / 6月10日対面:内容は学生と相談後に決定第11回 / 6月17日対面:内容は学生と相談後に決定第12回 / 6月24日対面:内容は学生と相談後に決定第13回 / 7月1日対面:内容は学生と相談後に決定第14回 / 7月8日対面:内容は学生と相談後に決定 | 第1回 / 4月8日 | 対面:17時集合 オリエンテーション |
| 第4回 / 4月23日資料収集ガイダンス:長崎大学図書館医学分館(長崎市坂本町)第5回 / 5月7日対面:内容は学生と相談後に決定第6回 / 5月13日対面:内容は学生と相談後に決定第7回 / 5月20日対面:内容は学生と相談後に決定第8回 / 5月27日対面:内容は学生と相談後に決定第9回 / 6月3日対面:内容は学生と相談後に決定第10回 / 6月10日対面:内容は学生と相談後に決定第11回 / 6月17日対面:内容は学生と相談後に決定第12回 / 6月24日対面:内容は学生と相談後に決定第13回 / 7月1日対面:内容は学生と相談後に決定第14回 / 7月8日対面:内容は学生と相談後に決定 | 第2回 / 4月15日 | 対面:内容は学生と相談後に決定 |
| 第5回 / 5月7日対面:内容は学生と相談後に決定第6回 / 5月13日対面:内容は学生と相談後に決定第7回 / 5月20日対面:内容は学生と相談後に決定第8回 / 5月27日対面:内容は学生と相談後に決定第9回 / 6月3日対面:内容は学生と相談後に決定第10回 / 6月10日対面:内容は学生と相談後に決定第11回 / 6月17日対面:内容は学生と相談後に決定第12回 / 6月24日対面:内容は学生と相談後に決定第13回 / 7月1日対面:内容は学生と相談後に決定第14回 / 7月8日対面:内容は学生と相談後に決定 | 第3回 / 4月22日 | 対面:内容は学生と相談後に決定 |
| 第6回 / 5月13日対面:内容は学生と相談後に決定第7回 / 5月20日対面:内容は学生と相談後に決定第8回 / 5月27日対面:内容は学生と相談後に決定第9回 / 6月3日対面:内容は学生と相談後に決定第10回 / 6月10日対面:内容は学生と相談後に決定第11回 / 6月17日対面:内容は学生と相談後に決定第12回 / 6月24日対面:内容は学生と相談後に決定第13回 / 7月1日対面:内容は学生と相談後に決定第14回 / 7月8日対面:内容は学生と相談後に決定 | 第4回 / 4月23日 | 資料収集ガイダンス:長崎大学図書館医学分館(長崎市坂本町) |
| 第7回 / 5月20日 対面:内容は学生と相談後に決定 第8回 / 5月27日 対面:内容は学生と相談後に決定 第9回 / 6月3日 対面:内容は学生と相談後に決定 第10回 / 6月10日 対面:内容は学生と相談後に決定 第11回 / 6月17日 対面:内容は学生と相談後に決定 第12回 / 6月24日 対面:内容は学生と相談後に決定 第13回 / 7月1日 対面:内容は学生と相談後に決定 第14回 / 7月8日 対面:内容は学生と相談後に決定 | 第5回 / 5月7日 | 対面:内容は学生と相談後に決定 |
| 第8回 / 5月27日 対面:内容は学生と相談後に決定 第9回 / 6月3日 対面:内容は学生と相談後に決定 第10回 / 6月10日 対面:内容は学生と相談後に決定 第11回 / 6月17日 対面:内容は学生と相談後に決定 第12回 / 6月24日 対面:内容は学生と相談後に決定 第13回 / 7月1日 対面:内容は学生と相談後に決定 第14回 / 7月8日 対面:内容は学生と相談後に決定 | 第6回 / 5月13日 | 対面:内容は学生と相談後に決定 |
| 第9回 / 6月3日 対面:内容は学生と相談後に決定 第10回 / 6月10日 対面:内容は学生と相談後に決定 第11回 / 6月17日 対面:内容は学生と相談後に決定 第12回 / 6月24日 対面:内容は学生と相談後に決定 第13回 / 7月1日 対面:内容は学生と相談後に決定 第14回 / 7月8日 対面:内容は学生と相談後に決定 | 第7回 / 5月20日 | 対面:内容は学生と相談後に決定 |
| 第10回 / 6月10日 対面:内容は学生と相談後に決定 第11回 / 6月17日 対面:内容は学生と相談後に決定 第12回 / 6月24日 対面:内容は学生と相談後に決定 第13回 / 7月1日 対面:内容は学生と相談後に決定 第14回 / 7月8日 対面:内容は学生と相談後に決定 | 第8回 / 5月27日 | 対面:内容は学生と相談後に決定 |
| 第11回 / 6月17日対面:内容は学生と相談後に決定第12回 / 6月24日対面:内容は学生と相談後に決定第13回 / 7月1日対面:内容は学生と相談後に決定第14回 / 7月8日対面:内容は学生と相談後に決定 | 第9回 / 6月3日 | 対面:内容は学生と相談後に決定 |
| 第12回 / 6月24日 対面:内容は学生と相談後に決定 第13回 / 7月1日 対面:内容は学生と相談後に決定 第14回 / 7月8日 対面:内容は学生と相談後に決定 | 第10回 / 6月10日 | 対面:内容は学生と相談後に決定 |
| 第13回 / 7月1日 対面: 内容は学生と相談後に決定 第14回 / 7月8日 対面: 内容は学生と相談後に決定 | 第11回 / 6月17日 | 対面:内容は学生と相談後に決定 |
| 第14回 / 7月8日 対面:内容は学生と相談後に決定 | 第12回 / 6月24日 | 対面:内容は学生と相談後に決定 |
| | 第13回 / 7月1日 | 対面:内容は学生と相談後に決定 |
| 第15回 / 7月16日 対面:合同発表会 | 第14回 / 7月8日 | 対面:内容は学生と相談後に決定 |
| | 第15回 / 7月16日 | 対面:合同発表会 |

| 学期 / Semester | 2024年度/Academic Year 前期 /First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 5 | |
|---|---|---|---|--|
| 開講期間 / Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | | |
| 必修選択 / Required / Elective | 必修,選択,自由/required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 | |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003046 | 科目番号 / Course code | 05810030 | |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | THE ST COMMON COMM | 1000.0000 | |
| 授業科目名/Course title | 初年次セミナー (医・保・歯合同) / First-Year Seminar | | | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 畑山 実/Hatayama Minoru,有賀 純/ARUGA Jun,松永 隼人/Matsunaga Hayato | | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 畑山 実/Hatayama Minoru | | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 畑山 実/Hatayama Minoru,有賀 純/ARUGA Jun,松永 隼人/Matsunaga Hayato | | | |
| / Instructor(s) | 教養ゼミナール科目,教養ゼミナール科目,大学院科目[構造],自由選択科目/Elective Courses | | | |
| 科目分類 / Course Category | | | | |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 講義形態 / Course style 演習 / Seminar | | | |
| 教室/Class room | 学部問い合わせのこと | | | |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | 医学科・保健学科・歯学科1年生 | | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | hatayama@nagasaki-u.ac.jp | | | |
| 担当教員研究室/Office | 基礎棟4階医科薬理学教室 | | | |
| 担当教員TEL/Tel | 7043 | - TAK) | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 10:00-17:00 (E-mail での質問も | , | キュニ フについてサロブ | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 学習する。同じ場で互いに学び、 | ループによる多職種連携学習を行う。 互いを学び、互いから学ぶとともに 力を習得し、知的活動への動機づけ | 相互理解を深める。 | |
| 授業到達目標/Course goals | ンテーション、レポートなどの基 4)医療に携わる者として必要な 要なマナーを習得する。 | て、問題抽出・解決能力や情報収集 | 好な人間関係を築くために必 | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | Diversity 王体性/Autonomy | ce 倫理観 / Ethics 多様性の | 理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills | | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course | 収集状況・分析など),プレゼンテ成,文章表現など)により総合的に めやすは、出席(10%)、毎回提出 | 方やディスカッション(初年次セミナーション(わかりやすい資料,話の構評価し,最終的な成績評価は「合」「する講義内容のレポート(30%)、最短のなど(30%)として評価します。 | 成,説得力など),レポート(構 「否」の2段階とする。評価の | |
| Contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | | |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | | 程度の再確認。そして、そこから疑問 自図書館の文献や、インターネット ₹す。 | | |
| キーワード/Keywords | 多職種連携、生命、健康、医療、 | 福祉、介護、地域包括ケア | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 図書館あるいはインターネット上 | の各種資料 | | |

| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | |
|--|---|
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考/Remarks | 授業は基本的に対面形式にておこないます。なお、全体発表会終了後に自分たちの発表、他のグループの発表に関して、良かった点、改善点についてレポートを提出(電子メールもしくはLACSによるオンライン提出)してもらいます。 |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | N . |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 4月8日 | 導入・テーマの選定 |
| 第2回 4月15日 | テーマに関する情報収集1 |
| 第3回 4月22日 | テーマに関する情報収集2 |
| 第4回 4月23日 | 情報収集ガイダンス(図書館) |
| 第5回 5月13日 | テーマに関する情報収集3 |
| 第6回 5月20日 | 発表にむけたプラン作成 |
| 第7回 5月27日 | 発表資料作成1 |
| 第8回 6月3日 | 発表資料作成2 |
| 第9回 6月10日 | 発表資料作成3 |
| 第10回 6月17日 | 中間発表 |
| 第11回 6月24日 | 資料の不足や問題点の洗い出し1 |
| 第12回 7月1日 | 発表資料の修正と最終原稿作り |
| 第13回 7月8日 | 発表予行練習 |
| 第14回 7月16日 | 全体発表会 |
| 第15回 7月17日~23日 | オンラインによるレポート提出(7月23日提出期限・備考欄参照) |

| 学期 / Semester | 2024年度 / Academic Year 前期 /First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 5 | |
|---|---|--|---|--|
| 用講期間/Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | | |
| 必修選択 / Required / Elective | 必修,選択,自由 / required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 | |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003047 | 科目番号 / Course code | 05810030 | |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | | | |
| 授業科目名/Course title | が年次セミナー(医・保・歯合同) / First-Year Seminar | | | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the | | , | | |
| course syllabus | 岩尾 敦彦/Iwao Atsuhiko | | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 岩尾 敦彦/Iwao Atsuhiko | | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | | | | |
| / Instructor(s) | 岩尾 敦彦/Iwao Atsuhiko | | | |
| 科目分類 / Course Category | 教養ゼミナール科目、教養ゼミナ | ール科目,大学院科目[構造],自由 | 選択科目/Elective Courses | |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態/Course style | 演習/Seminar | |
| 教室/Class room | 学部問い合わせのこと | | | |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | 医学科・保健学科・歯学科1年生 | | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | a-iwao@nagasaki-u.ac.jp | | | |
| 担当教員研究室/Office | 形成外科 | | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-7327 | | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | メールで問い合わせてください。 | | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 学習する。同じ場で互いに学び、 | ループによる多職種連携学習を行う 互いを学び、互いから学ぶとともに | 相互理解を深める。 | |
| 授業到達目標/Course goals | 2)科学的な思考能力や立案能力 3)学習テーマの課題遂行を通し ンテーション、レポートなどの基 4)医療に携わる者として必要な 要なマナーを習得する。 | て、問題抽出・解決能力や情報収集 本的学習技能を習得する。 コミュニケーション能力とともに良 | 、ディスカッション、プレゼ 好な人間関係を築くために必 | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through | 6)医療関係諸職種の役割、機能 汎用的能力/Generic Competen Diversity 主体性/Autonomy | ce 倫理観/Ethics 多様性の 協働性/Cooperativeness 考 | 理解/Understanding えをやり取りする力/Ability | |
| the course (pick 1 to 3) | to exchange ideas 国際・地域 | 或社会への関心/Interest in inter | national / local society | |
| 学出 o 田老生 \ | degree of comprehension of the B.多角的に考えるために他者と various perspectives | り自分で考えさせたりする活動 contents to the lesson or to th 関わる活動 br / Activities invo | ink over Iving others to think from | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | D.問題解決のために知識を総合 utilize knowledge to solve pro E.上記以外の学生の思考の活性 students' thinking other than | 的に活用する活動 / Activitie blems 化を促す授業手法 the above | s that comprehensively methods to stimulate | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 初年次セミナーに対する取り組み 収集状況・分析など) , プレゼンテ | れる 大さい 大やディスカッション(初年次セミガーション(わかりやすい資料,話の構評価し,最終的な成績評価は「合」 | ナーへの積極的な参加,情報の 成,説得力など),レポート(構 | |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course | 詳細は授業計画詳細を参照 | | | |
| contents of each lesson 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | グループワーク等の前提となる事 | 前学習では,授業で紹介する Web t | | |
| キーワード/Keywords | 集や,各種情報をよどのた図表の 多職種連携、生命、健康、医療、 | 作成等を中心に行うこととなります 福祉 介護 地域句様ケア | (∠11) ₀ | |
| • | 多 報性 建 携、 生 叩、 健 康、 医 療、 なし | 1田114、川 暖、 地 場 巴 拍 ソ ブ | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | / & ∪ | | | |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | | | | |

| アクセシビリティ/Accessibility (for students | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 |
|--|---|
| with disabilities) | アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 |
| | (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 |
| | (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考/Remarks | 対面での授業を予定 |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 「長大生のためのラーニングティップス」 |
| | https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか | N |
| (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教 | |
| 育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / | |
| Contents of course | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 12×11 min may course conseque | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | 授業内容説明、自己紹介、テーマ検討、対面 |
| 第2回 | テーマ決定、他己紹介情報収集、対面 |
| 第3回 | 図書館資料収集ガイダンス、対面 |
| 第4回 | Power Pointを用いた他己紹介1、対面 |
| 第5回 | Power Pointを用いた他己紹介2、グループ編成、リーダー・サブリーダー選定、対面 |
| 第6回 | 自己学習 1、対面 |
| 第7回 | 小グループ学習 1、対面 |
| 第8回 | 大グループ学習 1、対面 |
| 第9回 | 中間発表会、対面 |
| 第10回 | 自己学習 2、対面 |
| 第11回 | 小グループ学習 2 、対面 |
| 第12回 | 大グループ学習 2 、対面 |
| 第13回 | 全体発表会予行演習・総合討論 1 、対面 |
| 第14回 | 全体発表会予行演習・総合討論 2 、対面 |
| 第15回 | 全体発表会、対面 |

| | 2024年度 / Academic Year 前期 | | | |
|---|---|--|---|--|
| 学期 / Semester | /First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火/Tue 5 | |
| 開講期間/Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | | |
| 必修選択/Required / Elective | 必修,選択,自由/required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 | |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003048 | 科目番号 / Course code | 05810030 | |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | | | |
| 授業科目名/Course title | - 初年次セミナー(医・保・歯合同)/First-Year Seminar | | | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 井上剛 | | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 井上 剛 | | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 井上 剛 | | | |
| /Instructor(s) | 井上 例 | | | |
| 科目分類/Course Category | 教養ゼミナール科目、教養ゼミナ | ール科目,大学院科目[構造],自由 | 選択科目/Elective Courses | |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習/Seminar | |
| 教室/Class room | 学部問い合わせのこと | | | |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | 医学科・保健学科・歯学科1年生 | | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | ts-inoue@nagasaki-u.ac.jp | | | |
| 担当教員研究室/Office | 内臓機能生理学(医学部基礎研究 | 棟 3 階) | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-7031 | | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 16:30-17:30 | | | |
| 極来。原本力。6年最初17.0 | 医学科・保健学科・歯学科混成グ | ループによる多職種連携学習を行う。 | 。あるテーマについて共同で | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 学習する。同じ場で互いに学び、 | 互いを学び、互いから学ぶとともに | 相互理解を深める。 | |
| 授業到達目標/Course goals | 2)科学的な思考能力や立案能力 3)学習テーマの課題遂行を通し ンテーション、レポートなどの基 4)医療に携わる者として必要な 要なマナーを習得する。 | て、問題抽出・解決能力や情報収集 | 、ディスカッション、プレゼ 好な人間関係を築くために必 | |
| | 6)医療関係諸職種の役割、機能 | について理解する。 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | Diversity 土体性 / Autonomy | | 理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society | |
| | A.授業内容の理解度を確認した | り自分で考えさせたりする活動 <br< td=""><td>>/ Activities to check the</td></br<> | >/ Activities to check the | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | B.多角的に考えるために他者と various perspectives C.技能修得のために実践する活 D.問題解決のために知識を総合 utilize knowledge to solve pro E.上記以外の学生の思考の活性 students' thinking other than | 化を促す授業手法 / Teaching | lving others to think from for acquiring skills s that comprehensively methods to stimulate | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 初年次セミナーに対する取り組み 収集状況・分析など) , プレゼンテ | 方やディスカッション(初年次セミナ ーション(わかりやすい資料,話の構 評価し,最終的な成績評価は「合」「 | ーへの積極的な参加,情報の成,説得力など),レポート(構 | |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | | |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | ィスカッションには積極的に参加 | 前に講義内容の十分な学修と知識の すること。 ンにおける指摘事項等について十分 | | |
| キーワード/Keywords | 多職種連携、生命、健康、医療、 | 福祉、介護、地域包括ケア | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 文献などを適宜使用 | | | |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | | | | |
| スロウス II (Nを IP ハ IT) / I I C I C Y U I S I L C S | <u> </u> | | | |

| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
|--|---|
| 備考/Remarks | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | Y:実務経験あり |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course | 担当教員 / 医師としての実務経験や専門医資格を有している / 実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | セミナー室3で講義(対面) |
| 第2回 | セミナー室3で講義(対面) |
| 第3回 | セミナー室3で講義(対面) |
| 第4回 | 図書館ガイダンス【4月26日(金) 第1講義室】(対面) |
| 第5回 | セミナー室3で講義(対面) |
| 第6回 | セミナー室3で講義(対面) |
| 第7回 | セミナー室3で講義(対面) |
| 第8回 | セミナー室3で講義(対面) |
| 第9回 | セミナー室3で講義(対面) |
| 第10回 | セミナー室3で講義(対面) |
| 第11回 | セミナー室3で講義(対面) |
| 第12回 | セミナー室3で講義(対面) |
| 第13回 | セミナー室3で講義(対面) |
| 第14回 | 振り返り(対面) |
| 第15回 | 発表会 【7月16日(火) 第4講義室】(対面) |

| 学期 / Semester | 2024年度/Academic Year 前期 /First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火/Tue 5 | |
|---|---|--|--|--|
| 開講期間/Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | | |
| 必修選択 / Required / Elective | 必修,選択,自由/required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 | |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003049 | 科目番号 / Course code | 05810030 | |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | 111 H 3 7 000130 0000 | 03010030 | |
| 授業科目名 / Course title | | 同)/First-Vear Seminar | | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the | 初年次セミナー(医・保・歯合同) / First-Year Seminar | | | |
| course syllabus | 中畑 泰和,樽見 航/Tarumi Wa | ataru | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course | 中畑 泰和 | | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s) | 中畑 泰和,樽見 航/Tarumi Wataru | | | |
| 科目分類/Course Category | 教養ゼミナール科目,教養ゼミナール科目,大学院科目[構造],自由選択科目/Elective Courses | | | |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習 / Seminar | |
| 教室 / Class room | 学部問い合わせのこと | | | |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | 医学科・保健学科・歯学科1年生 | | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | | | 置き換え <i>て</i> 送信してください) | |
| 担当教員研究室/Office | 生理学第二 | | <u> </u> | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-7035 | | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 月~金 10:00-17:00 | | | |
| | | | 。 。あるテーマについて共同で | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | | 互いを学び、互いから学ぶとともに | | |
| 授業到達目標/Course goals | ンテーション、レポートなどの基 4)医療に携わる者として必要な 要なマナーを習得する。 | て、問題抽出・解決能力や情報収集本的学習技能を習得する。 コミュニケーション能力とともに良 を理解し、リーダーシップ、フォロ | 好な人間関係を築くために必 | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | Diversity 土体性 / Autonomy | | 理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | degree of comprehension of the B.多角的に考えるために他者と various perspectives C.技能修得のために実践する活 D.問題解決のために知識を総合 utilize knowledge to solve prol E.上記以外の学生の思考の活性 students' thinking other than F.教員からの講義のみで構成さ | 化を促す授業手法 / Teaching the above れる br>/ It consists only of lo | ink over Iving others to think from for acquiring skills s that comprehensively methods to stimulate ectures from teachers | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 収集状況・分析など),プレゼンテ | 方やディスカッション(初年次セミナーション(わかりやすい資料,話の構 ・ 評価し,最終的な成績評価は「合」「 。 | 成,説得力など),レポート(構 | |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | | |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | (1h)。 事後学習では、議論内容について (1h)。 | を活発にするためテーマの基礎的背の復習、ならびに発表に向けた図表 | | |
| キーワード/Keywords | 多職種連携、生命、健康、医療、 | 福祉、介護、地域包括ケア | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 無し | | | |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | | | | |

| 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にごさい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948(E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp 構考/Remarks 学生へのメッセージ/Message for students 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ 実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience | ートに |
|--|-----|
| 学生へのメッセージ/Message for students「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/実務経験のある教員による授業科目であるか NN | |
| 学生へのメッセージ/Message for students https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ 実務経験のある教員による授業科目であるか N | |
| IN I | |
| (/ N// INSTRUCTOR(S) WITH PROCEICAL GAPERIGHOS | |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教 | |
| 育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使 | |
| 用)/Name / Details of practical experience / | |
| Contents of course | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時)/Time(date and time) 授業内容/Contents | |
| 第1回 図書館ガイダンス、担当教員:図書館職員(対面) | |
| 第2回 オリエンテーション、自己紹介、班決め、テーマ議論、担当教員:中畑泰和、樽見航(対面 |) |
| 第3回 テーマ決定、担当教員:中畑泰和、樽見航(対面) | |
| 第4回 グループ内での調査報告、意見交換、担当教員:中畑泰和、樽見航(対面) | |
| 第5回 グループ内での調査報告、意見交換、担当教員:中畑泰和、樽見航(対面) | |
| 第6回 グループ内での調査報告、意見交換、担当教員:中畑泰和、樽見航(対面) | |
| 第7回 中間発表資料作成、担当教員:中畑泰和、樽見航(対面) | |
| 中間発表、担当教員:中畑泰和、樽見航(対面) | |
| 第9回 追加調査の計画、担当教員:中畑泰和、樽見航(対面) | |
| 第10回 グループ内での調査報告、意見交換、担当教員:中畑泰和、樽見航(対面) | |
| 第11回 グループ内での調査報告、意見交換、担当教員:中畑泰和、樽見航(対面) | |
| 第12回 最終発表資料作成、担当教員:中畑泰和、樽見航(対面) | |
| 第13回 最終発表、担当教員:中畑泰和、樽見航(対面) | |
| 第14回 振り返り、担当教員:中畑泰和、樽見航(対面) | |
| 第15回 全体発表会(対面) | |

| 学期 / Semester | 2024年度 / Academic Year 前期 | 曜日・校時 / Day・Period | 火/Tue 5 |
|---|--|--|-------------------------|
| | /First Semester | TELL IXING POLICE | JX7 146 0 |
| 開講期間/Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | 1 |
| 必修選択/Required / Elective | 必修,選択,自由/required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003050 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード/Numbering code | GEFY 15021_001 | | |
| 授業科目名/Course title | 初年次セミナー(医・保・歯合 | 同) /First-Year Seminar | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 田中 邦彦/Tanaka Kunihiko | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course | 田中 邦彦/Tanaka Kunihiko | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s) | 田中 邦彦/Tanaka Kunihiko | | |
| 科目分類 / Course Category | ┃ 数春ゼミナール科目 数春ゼミナ | ール科目,大学院科目[構造],自由 | 選択科目 / Flective Courses |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習 / Seminar |
| 教室/Class room | 学部問い合わせのこと | mount to the control of the | |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | 医学科・保健学科・歯学科1年生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | | (ールを送信する際は を@に置き掛 | ゑえて送信してください) |
| 担当教員研究室/Office | 医学部医学科基礎研究棟1階・先端 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-7987 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 随時、メールにて受け付けます。 | | |
| | | ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー | 。テーマを決め、共同で学習 |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | | E学び,互いから学ぶとともに相互理 | |
| 授業到達目標/Course goals | 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートな どの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | Diversity 主体性/Autonomy | ce 倫理観/Ethics 多様性の 協働性/Cooperativeness 考 找社会への関心/Interest in inter | - |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 doncinum を知るのではできない。 E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される F.教員からの講義のみで構成される f. Teaching methods to stimulate from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 成績評価は授業担当教員である田中邦彦が行います。成績評価の配点は、事前学習20%、グループワーク・グループディスカッション40%、ワークへの取り組み20%、プレゼンテーション20%とします。初年次セミナーの成績評価は、「合」・「否」の2段階評価とします。成績に疑義が生じた場合は、学生の手引きに記載している正規の手続きをもって申し立てをすることができます。 詳細な成績を知りたい場合は、オフィスアワー等を利用し、個別に対応します。 | | |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson | 詳細は授業計画計細を参照 | | |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | 事前学習:決定したテーマについて、自主的にインターネット、文献などで情報を収集する。(2h) 事後学修:それまでに集めた情報を整理し、足りない情報を収集する。(2h) | | |
| キーワード/Keywords | 多職種連携,生命,健康,医療,福祉,介護,地域包括ケア | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 指定はしない。各自、必要と思わ | れる教科書や参考書を随時参照する | 0 |

| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | |
|---|--|
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。 授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 |
| | (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 |
| 備考/Remarks | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 多職種連携学習により相互理解を深めながら,科学的思考・情報収集能力・情報整理能力・プレゼン テーション資料作成能力・プレゼンテーション能力を高められればと思います。 |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | Υ |
| | 田中邦彦/消化器外科医としての勤務経験があり、現在も外来業務・当直業務に携わっている。医療・福祉分野におけるアドバイスやレクチャーにより、当該分野の理解を深めさせる。薬理学教員としての教育経験があり、論文執筆・学会発表を実施してきた。プレゼンテーションのための論理の展開、枠組みの作成から、実際のプレゼンテーション資料の作成法までの実践を助言指導する。 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回(4/9) | オリエンテーション、授業ガイダンス(対面) |
| 第2回(4/16) | 発表テーマの検討:グループディスカッション(対面) |
| 第3回(4/23) | 発表テーマの決定、進め方の検討:グループディスカッション(対面) |
| 第4回(4/26) | 図書館ガイダンス:見学(対面) |
| 第5回(5/7) | 発表テーマに関する情報収集(1):グループワーク(対面) |
| 第6回(5/14) | 発表テーマに関する情報収集(2):グループワーク(対面) |
| 第7回(5/21) | 発表テーマに関する情報収集(3):グループワーク(対面) |
| 第8回 (5/28) | 情報整理、発表スライドの枠組み検討:グループワーク(対面) |
| 第9回(6/4) | 発表スライドの作成(1): グループワーク (対面) |
| 第10回(6/11) | 発表スライドの作成(2): グループワーク (対面) |
| 第11回(6/18) | 中間発表会による内容確認:プレゼンテーション、グループディスカッション(対面) |
| 第12回(6/25) | 発表スライドの修正:グループワーク(対面) |
| 第13回 (7/2) | 発表スライドの完成:グループワーク(対面) |
| 第14回 (7/9) | 発表原稿の作成: グループワーク (対面) 予行演習: プレゼンテーション (対面) |
| 第15回(7/16) | 全体発表会(医学部第四講義室):プレゼンテーション(対面) |

| 学期 / Semester | 2024年度/Academic Year 前期 /First Semester | 曜日・校時/Day・Period | 火/Tue 5 |
|---|--|---|--|
| 開講期間 / Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | |
| 必修選択/Required / Elective | | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003051 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード/Numbering code | GEFY 15021_001 | | |
| 授業科目名/Course title | 初年次セミナー(医・保・歯合同 |]) /First-Year Seminar | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the | 池岡 俊幸, ,堀江 一郎/Hori | ie Ichiro, 赤澤 諭/Akazawa Sat | toru, 古賀 智裕/Koga |
| course syllabus | Tomohiro, 鎌田 昭江,清水 俊匡 | [,住吉 玲美,中嶋 遥美,二里 | 哲朗 |
| 授業担当教員名(科目責任者) | NIE A | | |
| /Instructor in charge of the course | 池岡 俊幸 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 池岡 俊幸, ,堀江 一郎/Hori | ie Ichiro,赤澤 諭/Akazawa Sat | toru, 古賀 智裕/Koga |
| /Instructor(s) | Tomohiro, 鎌田 昭江,清水 俊匡 | | - |
| 科目分類 / Course Category | 教養ゼミナール科目,教養ゼミナー | | 選択科目/Elective Courses |
| 対象年次 / Intended year | | 講義形態/Course style | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | 学部問い合わせのこと | · | |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | 医学科・保健学科・歯学科1年生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | ikeokat@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Office | 長崎大学病院外来棟9階 第一内科 | | |
| | 095-819-7262 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 月曜日~金曜日 15:00-17:00 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 医学科・保健学科・歯学科混成グル 学習する。同じ場で互いに学び、互 | | ı |
| 授業到達目標/Course goals | 1)大学生として自主的な学習能力 2)科学的な思考能力や立案能力を 3)学習テーマの課題遂行を通して ンテーション、レポートなどの基本 4)医療に携わる者として必要なコ 要なマナーを習得する。 5)ものの見方や考え方の多様性を | ・涵養する。 □、問題抽出・解決能力や情報収集、 □ 「ないでではないではないではないではないではないです。」 □ 「はないではないではないではないではないできます。」 □ 「はないではないではないではないできます。」 □ 「はないではないではないではないできます。」 □ 「はないではないではないではないできませばないできます。」 □ 「はないではないではないではないではないではないではないではないではないできます。」 □ 「はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで | ディスカッション、プレゼ |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 6)医療関係諸職種の役割、機能に 汎用的能力/Generic Competence Diversity 主体性/Autonomy to exchange ideas 国際・地域 | e 倫理観/Ethics 多様性の3 | 理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | degree of comprehension of the of B.多角的に考えるために他者と関various perspectives C.技能修得のために実践する活動D.問題解決のために知識を総合的utilize knowledge to solve proble.上記以外の学生の思考の活性化students' thinking other than the | 引わる活動 br>/ Activities involondations of the state | ink over Iving others to think from for acquiring skills s that comprehensively methods to stimulate |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 初年次セミナーに対する取り組み方 収集状況・分析など),プレゼンテー成,文章表現など)により総合的に評 のラスの担当教員の指示による。 | -ション(わかりやすい資料,話の構成 | 成,説得力など),レポート(構 |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | 事前学習:発表テーマに必要な情報 事後学習:グループワークの内容を | | |
| キーワード/Keywords | 多職種連携、生命、健康、医療、福 | | , , |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 発表テーマに沿うような内容の教科 | | |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | | | |
| THIS TI (HE PARTY) / I TOTOGRAFOT TOO | <u> </u> | | |

| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@nl.nagasaki-u.ac.jp |
|--|---|
| 備考/Remarks | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | Υ |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course | 鎌田昭江、堀江一郎、赤澤諭、池岡俊幸、中嶋遥美、二里哲朗/内分泌代謝内科の臨床・研究・教育の経験に基づき、本セミナーの課題設定、情報収集、スライド作成、プレゼンテーションの方法について指導する。 古賀智裕、住吉玲美、清水俊匡/リウマチ膠原病科の臨床・研究・教育の経験に基づき、本セミナーの課題設定、情報収集、スライド作成、プレゼンテーションの方法について指導する。 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 4月9日 16:30 | オリエンテーション (対面) 担当者:池岡俊幸 |
| 第2回 4月16日16:30 | 発表テーマの検討(1):グループディスカッション(対面) 担当者:住吉玲美 |
| 第3回 4月23日 16:30 | 発表テーマの検討(2): グループディスカッション (対面) 担当者: 二里哲朗 |
| 第4回 4月26日 | 資料収集ガイダンス (対面) 担当者:図書館職員 |
| 第5回 5月7日 16:30 | 発表テーマに関する情報収集(1):グループワーク(対面) 担当者:清水俊匡 |
| 第6回 5月14日 16:30 | 発表テーマに関する情報収集(2):グループワーク (対面) 担当者:中嶋遥美 |
| 第7回 5月21日 16:30 | 発表テーマに関する情報収集(3):グループワーク(対面) 担当者:原口愛 |
| 第8回 5月28日 16:30 | 中間まとめ(対面) 担当者:池岡俊幸 |
| 第9回 6月4日 16:30 | 発表スライドの作成(1): グループワーク (対面) 担当者:住吉玲美 |
| 第10回 6月11日 16:30 | 発表スライドの作成(2): グループワーク (対面) 担当者:赤澤諭 |
| 第11回 6月18日 16:30 | 発表スライドの作成(3): グループワーク (対面) 担当者:中嶋遥美 |
| 第12回 6月25日 16:30 | プレゼンテーション準備(1) (対面) 担当者:古賀智裕 |
| 第13回 7月2日 16:30 | プレゼンテーション準備(2) (対面) 担当者:堀江一郎 |
| 第14回 7月9日 16:30 | 振り返り(対面) 担当者:鎌田昭江 |
| 第15回 7月16日 | 発表会(対面) |

| 学期 / Semester | 2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金/Fri 5 |
|--|--|--|--------------------------------|
| 開講期間/Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | |
| 必修選択/Required / Elective | 必修,選択,自由/required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003052 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード/Numbering code | GEFY 15021_001 | | |
| 授業科目名 / Course title | 初年次セミナー(医・保・歯合 | 同)/First-Year Seminar | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 岩永聰 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 岩永 聰 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s) | 岩永 聰 | | |
| 科目分類 / Course Category | 教養ゼミナール科目、教養ゼミナ | ール科目,大学院科目[構造],自由 | 選択科目/Elective Courses |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習/Seminar |
| 教室/Class room | 学部問い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | 医学科・保健学科・歯学科1年生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | aiwanaga nagasaki-u.ac.jp(メ | ールをする際は、 を@に置き換えて | こください。) |
| 担当教員研究室/Office | 長崎大学病院 本館 10階 皮膚 | 科医局 | |
| 担当教員TEL/Tel | 0958197333 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 水・木・金 16時~17時 | | |
| 3_3,X,3,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7, | (事前にアポイントを取ること) | | + |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | | ループによる多職種連携学習を行う。 互いを学び、互いから学ぶとともに | <u> </u> |
| 授業到達目標/Course goals | 2)科学的な思考能力や立案能力 3)学習テーマの課題遂行を通し ンテーション、レポートなどの基 4)医療に携わる者として必要な 要なマナーを習得する。 | て、問題抽出・解決能力や情報収集本的学習技能を習得する。 コミュニケーション能力とともに良 を理解し、リーダーシップ、フォロ | 、ディスカッション、プレゼ 好な人間関係を築くために必 |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 | | | TH 47 / Hadanatandian |
| しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | Diversity 主体性/Autonomy | ce 倫理観/Ethics 多様性の 協働性/Cooperativeness 考 或社会への関心/Interest in inter | えをやり取りする力 / Ability |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 doncinument of the contents to the lesson or to think over activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 授業への取り組み(30点)レポー計100点のうち60点以上を合格とす | ト(30点)プレゼンテーションの評 rる。 | 価(40点) |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson | | | |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | | のアイデアや情報の収集、プレゼン 次回までの課題を確認しておくこと。 | |
| キーワード/Keywords | | 福祉、介護、地域包括ケア、医療Al | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 教材は問わない。 主にインターネ | ットや図書館資料を活用するが、出 | 典の確かなものとする。 |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | 特になし | | |
| | • | | |

| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 |
|--|---|
| /## ## / P | (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考/Remarks | 授業は対面で行います。変更がある場合はLACSでお知らせします。 |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう! 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか | γ |
| (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course | 岩永聰 / 皮膚科学 / 慢性期病棟、精神科病棟などでの実務経験を元に実例を挙げて説明する |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | 自己紹介 オリエンテーション プレゼンテーションガイダンス (対面) |
| 第2回 | テーマの検討、アイデア共有(対面) |
| 第3回 | 情報収集ガイダンス(対面) |
| 第4回 | ディスカッション 1 (対面) テーマの確定 |
| 第5回 | ディスカッション 2 (対面) 調査内容、調査方法の検討 |
| 第6回 | ディスカッション3(対面) 調査結果の報告と共有、追加調査の検討 |
| | ディスカッション 4 (対面) 調査結果の吟味 |
| 第7回 | |
| 第7回 第8回 | プレゼンテーションアウトラインの作成(対面) |
| | プレゼンテーションアウトラインの作成(対面) スライド作成 1 (対面) |
| 第8回 | |
| 第8回 第9回 | スライド作成1(対面) |
| 第8回 第9回 第10回 | スライド作成 1 (対面) スライド作成 2 (対面) |
| 第8回 第9回 第10回 第11回 | スライド作成 1 (対面) スライド作成 2 (対面) スライド作成 3 (対面) |
| 第8回 第9回 第10回 第11回 | スライド作成 1 (対面) スライド作成 2 (対面) スライド作成 3 (対面) プレゼンテーション予行 1 (対面) |
| 第2回 第3回 第4回 第5回 | オリエンテーション プレゼンテーションガイダンス(対面) テーマの検討、アイデア共有(対面) 情報収集ガイダンス(対面) ディスカッション1(対面) テーマの確定 ディスカッション2(対面) 調査内容、調査方法の検討 ディスカッション3(対面) 調査結果の報告と共有、追加調査の検討 ディスカッション4(対面) |

| 時間割コード/Time schedule code 20240581003053 科目番号 / Course code 058 科目ナンバリングコード / Numbering code GEFY 15021_001 授業科目名 / Course title 初年次セミナー(医・保・歯合同) / First-Year Seminar 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus 提業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s) 柴田 恭明 / Shibata Yasuaki | 0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 5810030 駅科目/Elective Courses | |
|--|---|--|
| 必修選択 / Required / Elective | 5810030 | |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code GEFY 15021_001 授業科目名 / Course title 初年次セミナー(医・保・歯合同) / First-Year Seminar 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s) #田 恭明 / Shibata Yasuaki | | |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code GEFY 15021_001 授業科目名 / Course title 初年次セミナー(医・保・歯合同) / First-Year Seminar 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus 柴田 恭明 / Shibata Yasuaki / Instructor in charge of the course 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s) 柴田 恭明 / Shibata Yasuaki | | |
| 授業科目名 / Course title 初年次セミナー (医・保・歯合同) / First-Year Seminar 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus 授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s) 柴田 恭明 / Shibata Yasuaki | 识科目/Elective Courses | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 识科目/Elective Courses | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 识科目/Elective Courses | |
| / Instructor in charge of the course 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s) 柴田 恭明/Shibata Yasuaki | 択科目/Elective Courses | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s) #田 恭明 / Shibata Yasuaki | 炽科目/Elective Courses | |
| / Instructor(s) 柴田 恭明/Shibata Yasuaki | 択科目/Elective Courses | |
| | 択科目/Elective Courses | |
| 科目分類 / Course Category 教養ゼミナール科目,教養ゼミナール科目,大学院科目[構造],自由選択 | | |
| | 習/Seminar | |
| 教室 / Class room 学部問い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) 医学科・保健学科・歯学科1年生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address siva@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Office 医学部基礎研究棟2階 組織細胞生物学分野 | | |
| 担当教員TEL/Tel 819-7026 または 819-7027 | | |
| 世 担当教員オフィスアワー/Office hours 水、木曜日:15時~18時 | | |
| 医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あ | あるテーマについて共同で | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview 学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互 | | |
| 授業到達目標/Course goals ンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4)医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な要なマナーを習得する。 | 3)学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4)医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5)ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) スの授業を通して身につけて欲 | , | |
| degree of comprehension of the contents to the lesson or to think B.多角的に考えるために他者と関わる活動 タ生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking C.技能修得のために実践する活動 のこり、問題解決のために知識を総合的に活用する活動 のこうではでする。 のこうではでする。 のこうではでする。 のこうではできる。 のこうではできる。 のこうではできる。 のこうではできる。 のこうではできる。 のこうではできる。 のこうではできる。 のこうではできる。 のこうではできる。 のこうではできる。 のこうではできる。 のこうではできる。 のこうではできる。 のこうではできる。 のこうではできる。 のこうではできる。 のこうではできる。 のこうではできる。 のこうでは、 のこうでは、 のこうでは、 のこうでは、 のこうでは、 のこうでは、 のこうでは、 のこうでは、 のこうでは、 のこうでは、 のこうでは、 のこうでは、 のこうでは、 のこうでは、 のこうでは、 のこうでは、 のこうでは、 のこうでは、 のこうでは、 | C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 dutilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 トフィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・ | |
| 収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,記述により、対しては、基準等/Method of evaluation | 初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| プレゼンテーションに備えること。 | 事後学修(2h):プレゼンテーション時の質疑応答を吟味・調査し、次回のプレゼンテーションに | |
| キーワード/Keywords 多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials 特になし。 | | |

| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | |
|--|---|
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考/Remarks | 授業は対面形式で行いますが、場合によってはオンライン形式(オンデマンド)で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。 |
| 学生へのメッセージ/Message for students 実務経験のある教員による授業科目であるか | 学生同士の討論形式ですので、アイデアや意見の積極的な発露を期待します。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ |
| (Y/N)/Instructor(s) with practical experience 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教 育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使 用)/Name / Details of practical experience / Contents of course | 柴田恭明/ 医学部医学科 発生組織学講義・実習担当 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | 対面:オリエンテーション、グループ司会者決定、グループテーマ選定方法の決定 |
| 第2回 | 対面:テーマ候補の立案 |
| 第3回 | 対面:資料収集 |
| 第4回 | 対面:プレゼンテーション候補スライド作製(1) |
| 第5回 | 対面:プレゼンテーション候補スライド作製(2) |
| 第6回 | 対面:テーマ候補プレゼンテーション(1) |
| 第7回 | 対面:テーマ候補プレゼンテーション(2) |
| 第8回 | 対面:テーマ候補プレゼンテーション(3) |
| 第9回 | 対面:グループテーマの決定 |
| 第10回 | 対面:資料収集 |
| 第11回 | 対面:資料収集 |
| 第12回 | 対面:テーマスライド作製 |
| 第13回 | 対面:テーマスライドのブラッシュアップ |
| 第14回 | 対面:テーマの最終プレゼンテーション |
| 第15回 | 対面:クラス発表 |

| 学期/Semester | 2024年度/Academic Year 前期 | 曜日・校時 / Day・Period | 金/Fri 5 |
|---|---|---|---|
| | /First Semester | TELL IXAM, Day 101100 | <u></u> |
| 開講期間 / Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | 1 |
| 必修選択/Required / Elective | 必修,選択,自由/required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003054 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード/Numbering code | GEFY 15021_001 | | |
| 授業科目名/Course title | 初年次セミナー(医・保・歯合 | 同)/First-Year Seminar | |
| 編集担当教員/Instructor in charge of the course syllabus | 金子 美穂 / Kaneko Miho | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 金子 美穂/Kaneko Miho | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) /Instructor(s) | 金子 美穂/Kaneko Miho | | |
| 科目分類 / Course Category | 教養ゼミナール科目,教養ゼミナ | ール科目,大学院科目[構造],自由 | 選択科目/Elective Courses |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習/Seminar |
| 教室/Class room | 学部問い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | 医学科・保健学科・歯学科1年生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | mihokaneko nagasaki-u.ac.jp(| メールを送信する際は を@に置き携 | 桑えてください) |
| 担当教員研究室/Office | 医学部基礎研究棟8階 感染分子 | | |
| 担当教員TEL/Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 事前にメールでアポイントを取る | こと | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | | ループによる多職種連携学習を行う。 互いを学び、互いから学ぶとともに | |
| 授業到達目標/Course goals | 1)大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2)科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3)学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4)医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5)ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6)医療関係諸職種の役割、機能について理解する。 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | Diversity 土体性 / Autonomy | | 理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 tudents' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される students' to stimulate from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course | 初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | 自宅学習として、設定したテーマ | に関連する学術的な資料や文献を読 | む必要がある(1h) |
| キーワード/Keywords | 多職種連携、生命、健康、医療、 | 福祉、介護、地域包括ケア | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 教科書等は特に指定しない | | |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | | | |
| | - | | |

| | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 |
|---|---|
| | 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students | ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 |
| with disabilities) | さい。 |
| | アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 005 040 2006 (FAX) 005 040 2040 |
| | (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考/Remarks | (L-mate) Supportemit.nagasaki-u.ac.jp |
| m 5/Nomarks | 「長大生のためのラーニングティップス」 |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 版大生のためのフーニングティック人」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか | 7. |
| (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | N:実務経験なし |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教 | |
| 育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使 | |
| 用)/Name / Details of practical experience / | |
| Contents of course | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | 自己紹介・課題提起(対面) |
| 第2回 | 図書館ガイダンス(対面) |
| 第3回 | テーマ設定・グループ編成(対面) |
| 第4回 | ディスカッション・資料収集 (対面) |
| 第5回 | ディスカッション・資料収集 (対面) |
| 第6回 | ディスカッション・資料収集 (対面) |
| 第7回 | プレゼンテーション準備(対面) |
| 第8回 | グループ間での進捗状況の共有・ディスカッション(対面) |
| 第9回 | ディスカッション・資料収集 (対面) |
| 第10回 | ディスカッション・資料収集 (対面) |
| 第11回 | ディスカッション・資料収集 (対面) |
| 第12回 | プレゼンテーション準備 (対面) |
| 第13回 | プレゼンテーション準備・レポート作成(対面) |
| 第14回 | 振り返り(対面) |
| 第15回 | 発表会(対面) |

| 学期 / Semester | 2024年度 / Academic Year 前期 /First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 5 |
|---|--|---|--|
| 開講期間 / Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | |
| 必修選択 / Required / Elective | 必修,選択,自由/required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003055 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | | |
| 授業科目名/Course title | 初年次セミナー(医・保・歯合 | 同)/First-Year Seminar | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the | 本田 純久/Honda Sumihisa | | |
| course syllabus 授業担当教員名(科目責任者) | 本田 純久/Honda Sumihisa | | |
| / Instructor in charge of the course 授業担当教員名(オムニバス科目等) | | | |
| /Instructor(s) | 本田 純久/Honda Sumihisa | | |
| 科目分類/Course Category | 教養ゼミナール科目,教養ゼミナ | ール科目,大学院科目[構造],自由 | 選択科目/Elective Courses |
| 対象年次/Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習/Seminar |
| 教室/Class room | 学部問い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | 医学科・保健学科・歯学部1年次生 | Ė | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | | ルを送信する際は を@に置き換え | て送信してください) |
| 担当教員研究室/Office | 保健学科研究棟4階 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-7945 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 随時、メールにて受け付けます。 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で 学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 | | |
| 授業到達目標/Course goals | 2)科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3)学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4)医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5)ものの見方や考え方の多様性を理解し、 リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6)医療関係諸職種の役割、機能について理解する。 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competen Diversity 主体性 / Autonomy | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために知識を総合的に活用する活動 b.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 various perspectives C.技能修得のために知識を総合的に活用する活動 c. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 b. Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される b. Teaching of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | ・グループディスカッション40%、 初年次セミナーの成績評価は、「 成績の発表方法 成績の発表は、学期ごとに準備が 各自で確認できる。詳細な内容を 〈疑義申し立てについて〉 成績に疑義が生じた場合は、学生 とができる。 | 田純久が行う。成績評価の配点は、 プレゼンテーション20%、個人レポ合」、「否」の2段階評価とする。 整い次第、掲示板等で連絡し、学務 知りたい場合は、オフィスアワー等 の手引きに記載している正規の手続 | ート20%とする。 情報システム「NU-Web」より を利用して個別に対応する。 |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |

| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | 事前学習:講義時に予告する次回のテーマについて、自主的にインターネット、文献などで情報を収集すること。(2h) 事後学修:講義後は、課題に取り組むとともに、復習として授業中のノートを整理すること。(2h) |
|--|--|
| キーワード/Keywords | 多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 担当教員の指示による。 |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考/Remarks | 授業は対面形式で実施します。 |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう! 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | N |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | オリエンテーション、授業ガイダンス(対面) |
| 第2回 | 資料収集ガイダンス (対面) |
| 第3回 | 発表テーマの検討(1): グループディスカッション (対面) |
| 第4回 | 発表テーマの検討(2): グループディスカッション (対面) |
| 第5回 | 発表テーマに関する情報収集(1):グループワーク(対面) |
| 第6回 | 発表テーマに関する情報収集(2):グループワーク(対面) |
| 第7回 | 発表テーマに関する情報収集(3):グループワーク(対面) |
| 第8回 | 発表テーマに関する情報収集(4):グループワーク(対面) |
| 第9回 | 発表テーマに関する情報収集(5):グループワーク(対面) |
| 第10回 | 発表スライドの作成(1): グループワーク (対面) |
| 第11回 | 発表スライドの作成(2): グループワーク (対面) |
| 第12回 | 発表の予行演習(1): グループディスカッション (対面) |
| 第13回 | 発表の予行演習(2):グループディスカッション(対面) |
| 第14回 | 初年次セミナー発表会(対面) |
| 第15回 | 個人レポートの作成(対面) |

| 学期 / Semester | 2024年度/Academic Year 前期 /First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火/Tue 5 |
|---|---|--|---|
| 開講期間 / Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | |
| 必修選択/Required / Elective | 必修,選択,自由/required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003056 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | | |
| 授業科目名/Course title | 初年次セミナー(医・保・歯合 | 同)/First-Year Seminar | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 平野 裕子/Yuko Ohara-HIRANO | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s) | 平野 裕子/Yuko Ohara-HIRANO | | |
| | 数差ガミナー ・科日 数差ガミナ | 二川科日 大党院科日[楼选] 白山 | 選切利日 / Flootive Courses |
| 科目分類 / Course Category | | ール科目,大学院科目[構造],自由: | 選択科目 / ETECTIVE Courses 演習 / Seminar |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態/Course style | 演省 / Seminar |
| 教室 / Class room | 学部問い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | 医学科・保健学科・歯学科1年生 | | : ->4/-1 - / ±× · · |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | | -ルを送信する際は を@に置き換え | こ(送信してください) |
| 担当教員研究室/Office | 保健学科研究棟4階 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-7940 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | あらかじめメールにて連絡くださ | | · |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 医学科・保健学科・歯学科混成グ | -ルを送信する際は を@に置き換え ループによる多職種連携学習を行う。 互いを学び、互いから学ぶとともに | 。あるテーマについて共同で |
| 授業到達目標/Course goals | 2)科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3)学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4)医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5)ものの見方や考え方の多様性を理解し、 リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6)医療関係諸職種の役割、機能について理解する。 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 various perspectives E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | < 成績評価 > 初年次セミナーの成績評価は、「合」、「否」の 2 段階で評価をおこなう。 ・成績に疑義が生じた場合は、学生の手引きに記載している正規の手続きをもって申し立てをする ことができる。 ・詳細な成績を知りたい場合は、オフィスアワー等を利用し、個別に対応する。 | | |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson | 計細は授業計画計細を参照 | | |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | 予習:講義時に予告される次回のテーマについて、自主的に新聞・TV・インターネット等の報道を 注意深く確認しておいてください。(2h) 復習:講義後は、課題に取り組むとともに、復習として授業中のノートを整理してください (2h) | | |
| キーワード/Keywords | 多職種連携、生命、健康、医療、 | 福祉、介護、地域包括ケア | |
| カストリス カスティン カスティン カス カン・カス カン・カス カン・カス カン・カン カン・カン カン・カン カン・カン カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カ | 各担当教員の指示による。 | | |
| | | | |

| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | 単位取得を希望する者は、自己責任にて履修登録を行うこと。 |
|--|---|
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考/Remarks | 1.講義・演習の資料、教材、動画等を自己学習以外の目的で使用する場合は、必ず、担当教員の許可を得ること。資料、教材、動画等には講義演習で使用した資料、物品等を個人用カメラで撮影したものも含む。 2.SNSに講義や演習に関連した以下の内容を投稿した場合は、投稿に関与した学生全員について、定期試験受験資格なしとするなどの対応をとることがある。 人の尊厳を傷つける内容、個人情報と捉えられる内容、プライバシーの侵害にあたる内容、職業意識を脅かす内容、社会的信用の損失につながる内容など本セミナーは、対面授業を原則とするが、必要に応じて、オンライン授業も行う。 |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう! 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか | N. |
| (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | T |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教 | |
| 育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / | |
| Contents of course | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回(4月9日) | 授業ガイダンス・担当教員の紹介 |
| 第2回(4月16日) | 資料収集ガイダンス |
| 第3回(4月23日) | グループワークの仕方 |
| 第4回(5月7日) | セミナー(演習)(1) |
| 第5回(5月14日) | セミナー(演習)(2) |
| 第6回(5月21日) | セミナー(演習)(3) |
| 第7回(5月28日) | セミナー(演習)(4) |
| 第8回(6月4日) | セミナー(演習)(5) |
| 第9回(6月11日) | セミナー(演習)(6) |
| 第10回(6月18日) | セミナー(演習)(7) |
| 第11回(6月25日) | セミナー(演習)(8) |
| 第12回(7月2日) | セミナー(演習)(9) |
| 第13回(7月9日) | セミナー(演習)(10) |
| 第14回(7月23日) | セミナー (発表会) |
| 第15回(7月30日) | レポート作成 |

| 学期 / Semester | 2024年度/Academic Year 前期 /First Semester | 曜日・校時/Day・Period | 火/Tue 5 |
|---|--|---|-----------------------|
| 開講期間 / Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | |
| 必修選択/Required / Elective | 必修,選択,自由/required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003057 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | | |
| 授業科目名/Course title | 初年次セミナー(医・保・歯合 | 同)/First-Year Seminar | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 永江 誠治/Nagae Masaharu | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 永江 誠治 / Nagae Masaharu | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s) | 永江 誠治/Nagae Masaharu | | |
| 科目分類 / Course Category | 教養ゼミナール科目,教養ゼミナ | ール科目,大学院科目[構造],自由: | 選択科目/Elective Courses |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態/Course style | 演習/Seminar |
| 教室/Class room | 学部問い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | 医学科・保健学科・歯学科1年生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | m-nagae nagasaki-u.ac.jp(メー | -ルを送るときは を@に変えてくだ | さい) |
| 担当教員研究室/Office | 医学部保健学科 4階 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-7947 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | メールにて随時対応 永江:m-nagae nagasaki-u.ac.j | p(メールを送るときは を@に変え [、] | てください) |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で 学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 | | |
| 授業到達目標/Course goals | 1)大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2)科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3)学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4)医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5)ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6)医療関係諸職種の役割、機能について理解する。 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 dotivities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 dotivities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 browledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される browledge from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 【成績評価の方法・基準】 事前課題・自己学習(20%)、グループワーク(40%)、プレゼンテーション(20%)、個人レポート (20%)とする。個人レポートは、グループで学習したテーマについてA4レポート用紙1200字以上 (3枚以内)でまとめる。 成績評価にあたっては,単位を認定する場合は「合」とし,認定しない場合は「否」とする。出席 ・学修状況が特に悪く,単位認定の困難な学生に対しては,単位を与えないものとする。 【評価担当者】 永江誠治 【成績の発表方法】 成績の発表は、学期ごとに準備が整い次第、掲示板(またはLACS)等で連絡し、学務情報システム 「NU-Web」より各自で確認できる。詳細な内容を知りたい場合は、オフィスアワー等を利用して個別に対応する。成績・評価の疑義申立は、疑義申立期間に科目責任者が対応する。 | | |

| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 |
|--|---|
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | 事前:文献を用いて自己学習をしておくこと(1h) 事後:講義資料を基に復習し、最終レポート作成のための各回のまとめノートを作成すること (1h) |
| キーワード/Keywords | 多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 特に指定なし。必要時、資料配布あるいは参考図書を紹介する。 |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | 特になし |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考/Remarks | 授業は対面形式で実施します(ただし状況に応じてオンライン形式で対応する)。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。 撮影・SNS等についての注意 1.講義・演習の資料、教材、動画等を自己学習以外の目的で使用する場合は、必ず、担当教員の許可を得ること。資料、教材、動画等には講義演習で使用した資料、物品等を個人用カメラで撮影したものも含む。 2.SNSに講義や演習に関連した以下の内容を投稿した場合は、投稿に関与した学生全員について、試験受験資格なしとするなどの対応をとることがある。 人の尊厳を傷つける内容、個人情報と捉えられる内容、プライバシーの侵害にあたる内容、職業意 |
| 学生へのメッセージ/Message for students 実務経験のある教員による授業科目であるか | 識を脅かす内容、社会的信用の損失につながる内容など 多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう! 「長大生のためのラーニングティップス」を参照すること https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ |
| (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | Y |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教 | 永江誠治 / 看護師としての実務経験および学校現場における教員経験を生かして、調査デザイン、 ディスカッション、プレゼンテーション方法について指導する。 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | 授業ガイダンス【対面】 |
| 第2回 | 資料収集ガイダンス【対面】 |
| 第3回 | 発表テーマの検討(1):医療に関連した関心のあるテーマを考える【対面】 |
| 第4回 | 発表テーマの検討(2):医療に関連した関心のあるテーマを考える【対面】 |
| 第5回 | 発表テーマに関する情報収集(1): グループワーク(文献検討)【対面】 |
| 第6回 | 発表テーマに関する情報収集(2):グループワーク(文献検討)【対面】 |
| 第7回 | 発表テーマに関する情報収集(3):グループワーク(フィールドワーク)【対面】 |
| 第8回 | 発表テーマに関する情報収集(4):グループワーク(フィールドワーク)【対面】 |
| 第9回 | 発表テーマに関する情報収集(5):グループワーク(フィールドワーク)【対面】 |
| 第10回 | 発表テーマに関する情報収集(6):グループワーク(フィールドワーク)【対面】 |
| 第11回 | 発表スライドの作成(1)【対面】 |
| 第12回 | 発表スライドの作成(2)【対面】 |
| 第13回 | 発表会の予行演習【対面】 |
| 第14回 | 発表会【対面】 |
| 第15回 | レポート作成【対面】 |

| 学期 / Semester | 2024年度/Academic Year 前期 /First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火/Tue 5 |
|---|--|--|--------------------------|
| 開講期間/Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | |
| 必修選択/Required / Elective | 必修,選択,自由/required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003058 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | | • |
| 授業科目名/Course title | 初年次セミナー(医・保・歯合 | 同)/First-Year Seminar | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 小坂 理子 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 小坂 理子 | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s) | 小坂 理子 | | |
| 科目分類/Course Category | 教養ゼミナール科目、教養ゼミナ | ール科目,大学院科目[構造],自由 | 選択科目/Elective Courses |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習/Seminar |
| 教室/Class room | 学部問い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | 医学科・保健学科・歯学科1年生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | skosaka nagasaki-u.ac.jp(メー | -ルをする際は、 を@に置き換えて | ください。) |
| 担当教員研究室/Office | 保健学科4-12室 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 内線7948 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | メールで個別に問い合わせること | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | | ループによる多職種連携学習を行う。 互いを学び、互いから学ぶとともに | |
| 授業到達目標/Course goals | 2)科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3)学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4)医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5)ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6)医療関係諸職種の役割、機能について理解する。 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力/Generic Competen Diversity 主体性/Autonomy to exchange ideas 国際・地域 | ce 倫理観/Ethics 多様性の 協働性/Cooperativeness 考 或社会への関心/Interest in inter | national / local society |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 dtilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される students' thinking other than the above | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | | が発表・議論への積極的な貢献(60% | 6)に基ついて100点満点で評 |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson | 価し、60点以上を「合格」とする。 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | (2h) | 等の情報を整理し、他の学生や教員 得た知見・経験などを振り返って、 主体的に学びを深める(2h) | |
| キーワード/Keywords | 多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、保健、公衆衛生 | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 特に指定しない | | |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | | | |

| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948(E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp | |
|--|---|--|
| 備考/Remarks | 対面で実施 | |
| | 多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう! | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ | |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか | N. | |
| (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | N . | |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教 | | |
| 育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使 | | |
| 用)/Name / Details of practical experience / | | |
| Contents of course | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents | |
| 第1回 | 授業ガイダンス、個別オリエンテーション(対面) | |
| 第2回 | 資料収集ガイダンス(対面) | |
| 第3回 | テーマ決定(対面) | |
| テーマに関して個別学習・グループワーク(対面) | | |
| 第4回 | (発表・ディスカッション×3回を含む) | |
| Ф г. С | テーマに関して個別学習・グループワーク(対面) | |
| 第5回 | (発表・ディスカッション×3回を含む) | |
| 第6回 | テーマに関して個別学習・グループワーク(対面) | |
| 50日 | (発表・ディスカッション×3回を含む) | |
| 第7回 | テーマに関して個別学習・グループワーク(対面) | |
| | (発表・ディスカッション×3回を含む) | |
| 第8回 | テーマに関して個別学習・グループワーク(対面) | |
| | (発表・ディスカッション×3回を含む) | |
| 第9回 | テーマに関して個別学習・グループワーク(対面) | |
| | (発表・ディスカッション×3回を含む) | |
| 第10回 | プレーマに関して個別学習・グループワーク(対面) | |
| | (発表・ディスカッション×3回を含む) テーマに関して個別学習・グループワーク(対面) | |
| 第11回 | アーマに関して個別字音・グループワーク(対面) (発表・ディスカッション×3回を含む) | |
| | テーマに関して個別学習・グループワーク(対面) | |
| 第12回 |) 一くに関して個別子目・グループノーグ(対面) (発表・ディスカッション×3回を含む) | |
| | テーマに関して個別学習・グループワーク(対面) | |
| 第13回 | / 代に関うと間が子目 | |
| 第14回 | | |
| 第15回 | レポート作成 | |
| かい に | V T T TFPA | |

| 学期 / Semester | 2024年度/Academic Year 前期 /First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 5 |
|---|--|---|---|
| 用講期間 / Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | |
| 必修選択 / Required / Elective | 必修,選択,自由/required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003059 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード/Numbering code | GEFY 15021_001 | | |
| 授業科目名/Course title | 初年次セミナー(医・保・歯合 | 同)/First-Year Seminar | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 本多 直子 / Honda Naoko | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 本多 直子 / Honda Naoko | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 本多 直子 / Honda Naoko | | |
| / Instructor(s) | 対義ゼミナー川 紅日 対義ゼミナ | | 型中利日 / Flootive Courses |
| 科目分類 / Course Category 対象年次 / Intended year | 教養セミナール科目, 教養セミナ 1, 2, 3, 4 | ール科目,大学院科目[構造],自由 講義形態/Course style | 選択科目 / Elective Courses 演習 / Seminar |
| 対象中次 / Intended year 教室 / Class room | | 画我形態 / Course Style | 澳百 / Sellittat |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | 学部問い合わせのこと 医学科・保健学科・歯学部1年次生 | <u> </u> | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | | <u>-</u> ールを送信する際は を@に置き換 | ラア洋信してください) |
| 担当教員研究室/Office | Regional Hagasakt-u.ac.jp (ク | 一ルを区にする除は をじに且ら挟 | んではしてください |
| 担当教員研入至/011106 担当教員TEL/Tel | 095-819-7997 | | |
| | | p-honda nagasaki-u.ac.jp (メー | ルを送信する際は を@に置 |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | き換えて送信してください) | p Horida Hagasaki a.as.jp () | WEELS ON IC COLE |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で 学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 | | |
| 授業到達目標/Course goals | 2)科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3)学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4)医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5)ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6)医療関係諸職種の役割、機能について理解する。 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than | 河田的能力/Generic Competen | ce 倫理観/Ethics 多様性の | 理解 / Understanding えをやり取りする力 / Ability |
| knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 成績評価は授業担当教員である本多直子が行う。成績評価の配点は、事前課題20%、グループワーク・グループディスカッション40%、プレゼンテーション20%、個人レポート20%とする。初年次セミナーの成績評価は、「合」、「否」の2段階評価とする。成績の発表方法 成績の発表は、学期ごとに準備が整い次第、掲示板等で連絡し、学務情報システム「NU-Web」より各自で確認できる。詳細な内容を知りたい場合は、オフィスアワー等を利用して個別に対応する。 | | |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | 事前学習:講義時に予告する次回のテーマについて、自主的にインターネット、文献などで情報を収集すること。(2h) 事後学修:講義後は、課題に取り組むとともに、復習として授業中のノートを整理すること。(2h) | | |
| キーワード/Keywords | 多職種連携,生命,健康,医療,福祉 | | |

| 教科書・教材・参考書/Materials | 担当教員の指示による。 |
|--|--|
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考/Remarks | 対面授業 |
| 学生へのメッセージ/Message for students 実務経験のある教員による授業科目であるか | 多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう! 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ |
| (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | Y |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course | 本多直子 / 小児病棟・NICU・企業の健康管理での実務 / 実務経験に基づき、多職種連携による課題解決のための基本的な取り組みの態度、課題の探求方法を養う。 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | オリエンテーション、授業ガイダンス(対面) |
| 第2回 | 資料収集ガイダンス (対面) |
| 第3回 | 発表テーマの検討(1): グループディスカッション (対面) |
| 第4回 | 発表テーマの検討(2):グループディスカッション(対面) |
| 第5回 | 発表テーマに関する情報収集(1):グループワーク(対面) |
| 第6回 | 発表テーマに関する情報収集(2):グループワーク(対面) |
| 第7回 | 発表テーマに関する情報収集(3):グループワーク(対面) |
| 第8回 | 発表テーマに関する情報収集(4):グループワーク(対面) |
| 第9回 | 発表テーマに関する情報収集(5):グループワーク(対面) |
| 第10回 | 発表スライドの作成(1): グループワーク (対面) |
| 第11回 | 発表スライドの作成(2): グループワーク (対面) |
| 第12回 | 発表の予行演習:グループディスカッション(対面) |
| 第13回 | 初年次セミナー発表会(1) (対面) |
| 第14回 | 初年次セミナー発表会(2)(対面) |
| 第15回 | 個人レポートの作成(オンライン) |

| 学期 / Semester | 2024年度/Academic Year 前期 /First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火/Tue 5 |
|---|--|---|-------------------------|
| 開講期間 / Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | - | • |
| 必修選択 / Required / Elective | 必修,選択,自由/required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003060 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | | • |
| 授業科目名 / Course title | 初年次セミナー(医・保・歯合 | 同)/First-Year Seminar | |
| 編集担当教員/Instructor in charge of the | 神徳 備子 | | |
| course syllabus | | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 神徳 備子 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | | | |
| /Instructor(s) | 神徳 備子 | | |
| 科目分類 / Course Category | ┃ 数春ゼミナール科目、教春ゼミナ | ール科目,大学院科目[構造],自由 | 選択科目 / Elective Courses |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | ・, -, -, -, - 学部問い合わせのこと | 11332777EC 000100 01910 | XII / Communication |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | 医学科・保健学科・歯学科1年生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | | | |
| 担当教員研究室/Office | 保健学科5階 看護助教室 | // CDII / OMIG CoICECIX/ | t c (/ccvr) |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-7952 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 随時、メールにて受付ます。 | | |
| JEST教員オプイスアプ / OTTICE Hours | | | あるテーマについて共同で |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 学習する。同じ場で互いに学び、 | <u>互いを学び、互いから学ぶとともに</u> 力を習得し、知的活動への動機づけ | 相互理解を深める。 |
| 授業到達目標/Course goals | 2)科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3)学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4)医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5)ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6)医療関係諸職種の役割、機能について理解する。 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | 事前学習:講義時に予告する次のテーマについて、自主的にインターネット、文献などで情報を収集すること(2h) 事後学習:講義後は、課題に取り組むとともに授業のノートを整理すること(2h) | | |
| キーワード/Keywords | 多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 担当教員の指示による | | |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | | | |
| | | | |

| | 2024年度 / Academic Year 前期 | | |
|---|---|---|-------------------------|
| 学期 / Semester | /First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月/Mon 5 |
| 開講期間/Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | |
| 必修選択/Required / Elective | 必修,選択,自由/required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003061 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | - | |
| 授業科目名/Course title | 初年次セミナー(医・保・歯合 | 同)/First-Year Seminar | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 井口 茂/Inokuti Shigeru | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 井口 茂/Inokuti Shigeru | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s) | 井口 茂/Inokuti Shigeru | | |
| 科目分類 / Course Category | 数義ゼミナー川科日 数義ゼミナ | | 選択利日 / Flactive Courses |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | | 曲我//> // Course Style | /央目 / Sellittat |
| | 学部問い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | 医学科・保健学科・歯学部1年生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | shigeru@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Office | 医学部 保健学科 3階 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-7962 たらかじたい リロス海線レスエ | → 1.1 | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | あらかじめメールにて連絡して下 shigeru@nagasaki-u.ac.jp | ۵۱۱، | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 医学科・保健学科・歯学科混成グ | ループによる多職種連携学習を行う。 互いを学び、互いから学ぶとともに | |
| 授業到達目標/Course goals | 2)科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3)学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4)医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5)ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6)医療関係諸職種の役割、機能について理解する。 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | 予習:課題の内容について、自主的に新聞、TV、インターネットなどのメディア、図書資料などにより検索・確認して下さい。(0.5h) 復習:グループ内で討議した内容についてまとめて下さい。(0.5h) | | |
| キーワード/Keywords | 多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | | | |
| | . | | |

| | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 |
|---|--|
| アクセシビリティ/Accessibility (for students | 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに |
| | ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 |
| with disabilities) | さい。 |
| | アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 |
| | (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 |
| | (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考/Remarks | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 「長大生のためのラーニングティップス」 |
| | https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか | N |
| (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教 | |
| 育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使 | |
| 用)/Name / Details of practical experience / Contents of course | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| To 未計画計細 / Course Scriedure | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 4/8(月) 5限目 | 授業ガイダンス【対面】 |
| 第2回 4/15(月) 5限目 | 資料収集ガイダンス【対面】 |
| 第3回 4/22(月) 5限目 | グループワークの仕方【対面】 |
| 第4回 5/13(月) 5限目 | セミナー :課題についてグループワーク【対面】 |
| 第5回 5/20(月) 5限目 | セミナー :課題についてグループワーク【対面】 |
| 第6回 5/27(月) 5限目 | セミナー :課題についてグループワーク【対面】 |
| 第7回 6/3(月) 5限目 | セミナー :課題についてグループワーク【対面】 |
| 第8回 6/10(月) 5限目 | プレゼンテーションの仕方【対面】 |
| 第9回 6/17(月) 5限目 | セミナー :課題についてグループワーク【対面】 |
| 第10回 6/24(月) 5限目 | セミナー :課題についてグループワーク【対面】 |
| 第11回 7/1 (月) 5限目 | セミナー :課題についてグループワーク【対面】 |
| 第12回 7/8(月) 5限目 | セミナー :課題についてグループワーク【対面】 |
| 第13回 7/16(月) 5限目 | セミナー :課題についてグループワーク【対面】 |
| 第14回 7/22(月) 5限目 | 課題発表会【対面】 |
| 第15回 7/29(月) 5限目 | 課題レポートの作成【対面】 |

| 学期 / Semester | 2024年度 / Academic Year 前期 /First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月/Mon 5 |
|--|--|---|-----------------------|
| 用講期間/Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | |
| 必修選択/Required / Elective | 必修,選択,自由/required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003062 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | | |
| 授業科目名/Course title | 初年次セミナー(医・保・歯合 | 同)/First-Year Seminar | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 西 祐樹 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 西 祐樹 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s) | 西 祐樹 | | |
| 科目分類/Course Category | 教養ゼミナール科目,教養ゼミナ | | 選択科目/Elective Courses |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | 学部問い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | 医学科・保健学科・歯学科1年生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | ynishi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置 | | |
| 担当教員研究室/Office | 保健学科3階理学療法共同研究室 | , | |
| 担当教員TEL/Tel | (直通) 095-819-7967 (内線) | 7967 | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 月曜日8:50~17:00 ,金曜日8 | : 50 ~ 17 : 00 | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | | ループによる多職種連携学習を行う 互いを学び、互いから学ぶとともに | |
| 授業到達目標/Course goals | 2)科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3)学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4)医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5)ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6)医療関係諸職種の役割、機能について理解する。 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 (1 つ以上 3 つまで) /Abilities other than | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding | | |
| knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society | | |
| | A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | ng C.技能修得のために実践する活動 った/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 っと utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 っと students' thinking other than the above | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | F. 教員からの講義のみで構成される マカスク にないでは、 | | |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| contents of each lesson 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | 事前学習:学習テーマ及び課題に係る情報収集等を行う(1h) | | |
| | 事後学習:セミナーで課題となったことについて調査・考察等を行う(1h) 多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア | | |
| キーワード/Keywords 教科書・教材・参考書/Materials | 夕 風程度病、主叩、健康、医療、個性、月護、地域已拍ファ 必要に応じて配布します。 | | |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | 特になし | | |
| 文明女IT(Ngl》示计)/Fielequisites | 1寸に な し | | |

| | 1 | |
|--|--|--|
| | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 | |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students | 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに | |
| | ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 | |
| with disabilities) | でい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 | |
| | (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 | |
| | (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | |
| 備考/Remarks | 講義は対面形式で実施します。初回に講義計画を説明しますが、状況によっては変更する場合があ | |
| 州 ち/ Relial KS | ります。その場合はLACSで連絡します。 | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 「長大生のためのラーニングティップス」 | |
| · | https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ | |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか | N | |
| (Y/N)/Instructor(s) with practical experience 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教 | | |
| | | |
| 用)/Name / Details of practical experience / | | |
| Contents of course | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents | |
| 第1回 | 授業ガイダンス【対面】 | |
| 第2回 | 資料収集ガイダンス【対面】 | |
| 第3回 | グルーワークの方法【対面】 | |
| 第4回 | 医療に関連した興味あるテーマを考える【対面】 | |
| 第5回 | 医療に関連した興味あるテーマを考える【対面】 | |
| 第6回 | 個人ワークならびにグループワーク【対面】 | |
| 第7回 | 個人ワークならびにグループワーク【対面】 | |
| 第8回 | プレゼンテーションの方法【対面】 | |
| 第9回 | 個人ワークならびにグループワーク【対面】 | |
| 第10回 | 個人ワークならびにグループワーク【対面】 | |
| 第11回 | 個人ワークならびにグループワーク【対面】 | |
| 第12回 | 個人ワークならびにグループワーク【対面】 | |
| 第13回 | 発表会【対面】 | |
| 第14回 | 発表会【対面】 | |
| 第15回 | レポート作成について【対面】 | |
| | | |

| 学期 / Semester | 2024年度/Academic Year 前期 /First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月/Mon 5 |
|---|---|---|-----------------------|
| 開講期間 / Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | |
| 必修選択 / Required / Elective | 必修,選択,自由/required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003063 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | | |
| 授業科目名/Course title | 初年次セミナー(医・保・歯合 | 同)/First-Year Seminar | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 村田 潤/Murata Jiyun | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 村田 潤/Murata Jiyun | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s) | 村田 潤/Murata Jiyun | | |
| 科目分類 / Course Category | ┃ 教養ゼミナール科目、教養ゼミナ | ール科目,大学院科目[構造],自由: | 選択科目/Elective Courses |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | 学部問い合わせのこと | , | |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | 医学科・保健学科・歯学科1年生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | jmura nagasaki-u.ac.jp(メール | レをする際は、 を®に置き換えてく | ださい。) |
| 担当教員研究室/Office | 医学部保健学科2階 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-7923 | | |
| | 木曜日:13:00-15:00 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | それ以外の時間を希望する場合は | メールにて問い合わせてください | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で 学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 | | |
| 授業到達目標/Course goals | 1)大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2)科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3)学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4)医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5)ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6)医療関係諸職種の役割、機能について理解する。 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 河田的能力 / Caparic Compatence 倫理知 / Ethics 名样性の理解 / Understanding | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 c.技能修得のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 【成績評価の前提条件】 授業への出席が3分の2に満たない学生は成績評価を実施しない。 【採点方法】 プレゼンテーション課題(50点) + レポート・小テスト課題(30点) + 授業への取り組み・貢献(20点) = 100点満点 評価は科目責任者である森内剛史が行う。 【合格基準】 長崎大学成績評価ガイドラインに基づき、60点以上を「合」、59点以下を「否」とする。 【成績発表の方法】 成績の発表は、学期ごとに準備が整い次第、掲示板等で連絡し、学務情報システム「Nu-Web」により各自で確認できる。 成績に疑義が生じた場合は、学生の手引きにある所定の手続きを経て、申し立てをすることができる。 | | |

| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 |
|--|---|
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | 予習 予め講義資料を配布し予習してくる箇所を示すので、それらに目を通した上で講義に望むこと(2 h)。 |
| THE TRANSPORTER TO THE RESTOR | でくさい)。 復習 講義資料を再読し理解を確実にするように努める(2 h) |
| キーワード/Keywords | 多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 毎回の配布資料を使用する。 |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考/Remarks | 授業は対面形式での実施を原則といたしますが,新型コロナウイルス感染症の感染流行状況や、その他悪天候など対面形式での実施が困難な状況と判断した場合には、ZOOMによるオンライン形式で実施する場合もありますので予めご了承ください。授業の実施形式が変更する場合はLACSにて連絡いたします。 |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 多職種連携学習により相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう! 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | Υ |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course | 村田潤/医療施設での実務経験/医療施設における作業療法学について実例を挙げて、説明する |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回:4月10日 | 授業ガイダンス (対面) |
| 第2回:4月17日 | 資料収集ガイダンス(対面) |
| 第3回:4月24日 | セミナー(対面) |
| 第4回:5月8日 | セミナー(対面) |
| 第5回:5月15日 | セミナー(対面) |
| 第6回:5月22日 | セミナー (対面) |
| 第7回:5月29日 | セミナー(対面) |
| 第8回:6月5日 | セミナー(対面) |
| 第9回:6月12日 | セミナー (対面) |
| 第10回:6月19日 | セミナー (対面) |
| 第11回:6月26日 | セミナー (対面) |
| 第12回:7月3日 | セミナー (対面) |
| 第13回:7月10日 | セミナー (対面) |
| 第14回:7月24日 | 発表会(対面) |
| 第15回:7月31日 | レポート作成(対面) |

| 対策規令 | 学期 / Semester | 2024年度 / Academic Year 前期 | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 5 |
|--|--|---|---------------------------------------|-------------------------|
| 参應、選択、目由 / required / Elective 一点の表現、目由 / required 一点の表現、 | DD4# HDDD (0) | /First Semester | | |
| Septime | 開講期間 / Course duration | | | |
| 特別サンパリングコード / Numbering code 10年代 15021.001 | 必修選択 / Required / Elective | | | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 要素料目含次のurse title | 時間割コード/Time schedule code | 20240581003064 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 機乗担当教員 / Instructor in charge of the course | 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | | |
| 使来 | 授業科目名 / Course title | 初年次セミナー(医・保・歯合 | 同)/First-Year Seminar | |
| 接来担当教員名(科目責任者) | | 徳永 瑛子/Tokunaga Akiko | | |
| / Instructor in charge of the course 機業担当教育名(オムニバス科目等) / Instructor(s) | · | | | |
| ### / Instructor(s) である。 できたいいます。 では、「お子 / Instructor(s) である。 では、「お子 / Instructor(s) では、「 | | 徳永 瑛子 / Tokunaga Akiko | | |
| 契重 | | 徳永 瑛子/Tokunaga Akiko | | |
| 対象年次 / Intended year | | | ール科目、大学院科目[構造]、自由 | 選択科目 / Elective Courses |
| 対象学生(クラス等) / Intended year (class) 医学科・保健学科・歯学科1年生 担当教員モメールアドレス/F-mail address 内容 | | | | |
| 対象学生(クラス等) / Intended year (class) 医学科・保健学科・儒学科1年生 おは おは おは おは おは おは おは お | • | | 11332777EC 000100 01910 | DE FORMALIA |
| 超当教員研究のOffice | | | | |
| 担当教員研究室/Office 保健学科・開助教室 095-819-7996 担当教員オフィスアワー/Office hours 事前にメール等で確認の上随時 医学科・偏学科環域グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共 学習する。同し場で互いに学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 2)科学かな無等権力が立業能力を選替し、知的活動への動機づけを高める。 2)科学のな無等権力が立業能力を選替し、知的活動への動機づけを高める。 2)科学のな無等権力・表達する。 3)学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、ブ ンテーション、レボートなどの基本的学習技能を習得する。 4)医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くため要なマナーを習得する。 5)ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6)医療関係は連維を役割、機能について理解する。 3、別のようます)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) A. 授業内容の理解皮を確認したり自体のでは、またを中り取りするカール to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local socie degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over 8. 多角的に考えるために検書と関わる活動・セロッ Activities involving others to think various perspectives 正記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Abro / Activities to practice for acquiring skills until it is tudents thinking ther than the above F. 教員からの議義のみで構成される セロック / Activities from teachers が年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション (初年次セミナーへの種植的な参別・情、成状のようを表現など)により総合的に実体し、最終的な成境評価は「合」「否」の 2 段階とする。 計会が与の機構のので表れて使う、といいでは、 2 5 7 3 の 1 2 時間 演習内の役割に応じて、自分の分担に関して確認、そのために必要な学習(復習) 2 時間 所能ののの場に応じて、自分の分担に関して確認、そのために必要な学習(復習) 2 時間 所書の、事後学修の内容/Preparation & Review 第6 1 2 9 3 1 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | | | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours 事前にメールをで確認の上随時 要前にメールをで確認の上随時 医学科・偏学科温成グループによる多職権連携学習を行う。あるテーマについて共 学習する。同じ場で互いに学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 1)大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2)科学的な思考能力や立案能力を過費する。 3)学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、ブ ンテーション、レボートなどの基本的学習技能を習得する。 4)医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くため要なマナーを習得する。 5)ものの見力や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。6)医療所係諸職様の役割、機能について理解する。 3)に存まれています。 3)の場合は、1)は、1)は、1)は、1)には、1)には、1)には、1)には、1)には、1 | | - | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | | | | |
| 医学科・保健学科・菌学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共学習する。同じ場で互いに学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 | | | | |
| 学習する。同じ場で互いに学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 1)大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2)科学的な思考能力や立葉れたを通考する。 3)学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、ブラーション、レボートなどの基本的学習技能を習得する。 4)医療に携わる者として必要なコニュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くため要なマナーを習得する。 5)ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 (人) 医療所係結職種の役割、機能について理解する。 5)ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 (人) 医療所係結職種の役割、機能について理解する。 (人) しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course(pick 1 to 3) A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動、かry Activities to check degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動、かry Activities involving others to think various perspectives 「大能能得のために実践する活動、かry Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動、かry Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法、かry Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員から訓養のみで構成される、かry It consists only of lectures from teachers 初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情 収集状況・分析など)、プレゼンテーション(1のかりやすい)資料、話の構成、説得力など)、レボール、 文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。音をクラスの担当教員の指示による。 著師人事後学修の内容/Preparation & Review | 担当教員オフィステラー/OTTICE Hours | | リープに トスタ聨種連携学習を行う | カステーフについてサロブ |
| 2)科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3)学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、ブッテーション、レボートなどの基本的学習技能を習得する。 4)医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くため要なマナーを習得する。 5)ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。6)医療関係諸職種の役割、機能について理解する。 加護・技能以外に、この授業を通して身につけて飲しい力(Competence (Amps) にはい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動・dbrs/ Activities to check degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動・dbrs/ Activities involving others to think various perspectives C. 技能等何のために実践する活動・dbrs/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 dbrs/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 dbrs/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される dbrs/ It consists only of lectures from teachers 切埃太沢・分析など)、ブレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポー 成、文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。音グラスの担当教員の指示による。昔クラスの担当教員の指示による。昔の方法を関する。11 を表もいるの音楽方を照示した。12 を表もいるの音楽方を照示した。12 を表もいるの音楽方を照示したの言葉の方法に対して確認、そのために必要な学習(復習)2 時間 演習内の役割に応じて、自分の分担に関して確認、そのために必要な学習(復習)2 時間 演習内の役割に応じて、自分の分担に関して確認、そのために必要な学習(復習)2 時間 演習内の役割に応じて、自分の分担に関して確認、そのために必要な学習(復習)2 時間 演習の公割に応じて、自分の分担に関して確認、そのために必要な学習(復習)2 時間 演習の公割に応じて、自分の分担に関して確認、そのために必要な学習(復習)2 時間 演習の公割に応じて、自分の分担に関して確認、そのために必要な学習(復習)2 時間 | 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 学習する。同じ場で互いに学び、 | 互いを学び、互いから学ぶとともに | 相互理解を深める。 |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 本ではいれている。 A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 本ではいれている。 A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 を対しためために実践する活動 を対しています。これではいれている。 A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 を対しために他者と関わる活動 を対しています。これではいれている。 A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 を対しために他者と関わる活動 を対しています。これではいれている。 A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 を対しています。これではいれている。 A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 を対しために地名と関わる活動 を対しています。これではいれている。 A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 を対したいもにもいるにもいまれている。 B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 を対しています。これではいれでは、するにはいれている。 B. 多角的に実践する活動 を対しています。これではいれています。これではいれでは、するにはいれている。 B. のために対したいでは、まれでいるにはいれている。 B. を持ちいために実践する活動 を対したいに表しいます。これではいれでは、するにはいれている。 B. を持ちいために対しまるにはいれている。 B. を持ちいたのに表しまる。 「表別からの講像のみで構成される を対しないために必要な学習(復習)2時間 演習内の役割に応じて、自分の分担に関して確認、そのために必要な学習(復習)2時間 演習内の役割に応じて、自分の分担に関して確認、そのために必要な学習(復習)2時間 演習内の役割に応じて、自分の分担に関して確認、そのために必要な学習(復習)2時間 演習内の役割に応じて、自分の分担に関して確認、そのために必要な学習(復習)2時間 演習内の役割に応じて、自分の分担に関して確認、そのために必要な学習(復習)2時間 「対していますないの調が、まれていれていますがは、まれていれていますないの関係を確認したり自分で考えさせたりする活動 を対していますないの関係を確認したり自分で考えさせたりする活動 を対していますないの関係を確認したり自分で考えさせたりする活動 を対していますないの関係を確認したり自分で考えさせたりする活動 を対していますないの関係を確認したり自分で考えさせたりする活動 を対していますないの関係を確認したり自分で考えさせたりする活動 を対していますないの関係を確認したり自分で考えさせたりする活動 を対していまするはいますないの関係を使用していますないの関係を使用を対していますないの関係を使用を対していますないるではいますないますないますないのではいますないますないますないますないのではいますないますないますないますないのではいますないますない。 では、まずないのではいますないますないますないますないますないますない。 を対していますないますないますないのではいますないますないますないますないますないますないますないますないますないますな | 授業到達目標/Course goals | 3)学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4)医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5)ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 | | |
| degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 B.多角的に考えるために他者と関わる活動 B.多角的に考えるために他者と関わる活動 がない。 practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 B. Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 B. Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 B. Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 B. Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Mactivities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Mactivities to practice for acquiring skills D.問題解決のために対し、Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために対し、Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために対していまいます。 B. Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために対したいます。 Mactivities to practice for acquiring skills D.問題解決のために対しまる活動 Mactivities to practice for acquiring skills D.問題解決のために対しまるに対します。 Mactivities to practice for acquiring skills D.問題解決のために対します。 Mactivities to practice for acquiring skills D.問題解決するに対します。 Mactivities to practice for acquiring skills D. Activities to practice for acquiring skills D. B. Activities to practice for acquiring skills D. B. Activities to practice for acquiring skills D. B. B. Activities to practice for acquiring skills D. B. B. Activities to practice for acquiring skills D. B. B. Activities to practice for acquiring skills D. B. B. Activities to practice for acquiring skills D. B. B. Activities to practice for acquiring skills D. B. B. B. Activities to practice for acquiring skills D. B. B. B. Activities to practice for acquiring skills D. B. B. | しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation 収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート 成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。語名クラスの担当教員の指示による。 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson 詳細は授業計画詳細を参照 事前の調べ学習(予習)2時間 演習内の役割に応じて、自分の分担に関して確認、そのために必要な学習(復習)2時間 随時指示を行う | 9 | B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above | | |
| contents of each lesson 事前、事後学修の内容/Preparation & Review 事前、事後学修の内容/Preparation & Review 事前に応じて、自分の分担に関して確認、そのために必要な学習(復習)2時間 随時指示を行う | | 収集状況・分析など),プレゼンテ成,文章表現など)により総合的に | ーション(わかりやすい資料,話の構 評価し,最終的な成績評価は「合」 | 成,説得力など),レポート(構 |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review 演習内の役割に応じて、自分の分担に関して確認、そのために必要な学習(復習) 2 時間 随時指示を行う | | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| | 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | 演習内の役割に応じて、自分の分担に関して確認、そのために必要な学習(復習)2時間 | | |
| 干ーリード/Keywords 多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア | キーワード/Keywords | 多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials 随時配布 | • | 随時配布 | | |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | 受講要件(履修条件)/Prerequisites | | | |

| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
|--|---|
| 備考/Remarks | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | Y |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course | 徳永瑛子 / 作業療法士としての臨床活動、作業療法士教員としての教育活動 / 作業療法の視点から 医療福祉のテーマについて紹介し、その内容を深めるための手助けを行う |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | オリエンテーション / ガイダンス (対面) |
| 第2回 | 資料収集ガイダンス (対面) |
| 第3回 | 発表テーマ検討(対面) |
| 第4回 | 発表テーマ検討(対面) |
| 第5回 | 発表内容に応じた役割分担の確認 / 調べ学習 (対面) |
| 第6回 | 調べ学習(対面) |
| 第7回 | 調べ学習/調べた内容に関してグループ内で討論(対面) |
| 第8回 | 調べた内容に関してグループ内で討論(対面) |
| 第9回 | プレゼンテーション作成 (対面) |
| 第10回 | プレゼンテーション作成 (対面) |
| 第11回 | プレゼンテーション作成 (対面) |
| 第12回 | プレゼンテーション練習、詳細の修正 (対面) |
| 第13回 | プレゼンテーション練習、詳細の修正(対面) |
| 第14回 | 発表会(対面) |
| 第15回 | レポート作成(対面) |

| 学期 / Semester | 2024年度/Academic Year 前期 /First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火/Tue 5 |
|---|---|---|-------------------------|
| 用講期間 / Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | |
| 必修選択 / Required / Elective | 必修,選択,自由/required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003065 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | THE ST COMMON COMMON | |
| 授業科目名/Course title | 初年次セミナー(医・保・歯合 | 同)/First-Year Seminar | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the | | | |
| course syllabus | 中村 渉/NAKAMURA Wataru | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 中村 渉/NAKAMURA Wataru | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | | | |
| / Instructor(s) | 中村 渉/NAKAMURA Wataru | | |
| 科目分類 / Course Category | 数巻ゼミナー 科日 数巻ゼミナ | ール科目,大学院科目[構造],自由: | 選択科日 / Flactive Courses |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | ^{- , 2, 3, 4} 学部問い合わせのこと | 開我形態 / Course Style | /央目 / Sellittat |
| | | | |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | 医学科・保健学科・歯学科1年生 | in . | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | wataru_nakamura@nagasaki-u.ac. | JÞ | |
| 担当教員研究室/Office | 歯学部教育研究棟(A棟)A422 | | |
| 担当教員TEL/Tel | D A 10 00 10 00 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 月~金 16:00~18:00 | | + |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 学習する。同じ場で互いに学び、 | ループによる多職種連携学習を行う。 互いを学び、互いから学ぶとともに 力を習得し、知的活動への動機づけ | 相互理解を深める。 |
| 授業到達目標/Course goals | 2)科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3)学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4)医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5)ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | Diversity 土体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | 予習 予めレジュメを配布し、テキストの中で読んでくるべき個所を示すので、それらに目を通したうえでゼミにのぞむこと。 (2h) 復習 テキストとレジュメを再読し、理解を確実にするよう努めること。 (2h) | | |
| キーワード/Keywords | 生命、健康、医療、体内時計、概 | 日リズム | |

| | [4 土 李] |
|---|---|
| | 【参考書】 Rhythms of Life |
| | The biological Clocks that Control the Daily Lives of every Living Thing |
| | Russell G.Foster and Leon Kreitzman |
| | ISBN-10 : 0300109695 |
| 教科書・教材・参考書/Materials | ペーパーパック版、kindle版 |
| TATTE TATA STEP INICIONAL TOTAL | |
| | |
| | 生物時計はなぜリズムを刻むのか / ラッセルフォスター(著者), レオンクライツマン(著者),本間徳 |
| | 子(訳者) 日経BP社 |
| | ISBN 4822282619 (絶版) |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | |
| Zanzari (mz.)zwii yww.e.equ.e.ee | ┃ ┃長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 ┃ |
| | 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students | ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 |
| with disabilities) | さい。 |
| | アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 |
| | (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 |
| | (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp 授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合も |
| 備考/Remarks | あります。その場合はLACSで連絡します。 |
| | 「長大生のためのラーニングティップス」 |
| 学生へのメッセージ/Message for students | https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか | v |
| (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教 | |
| 育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用) | |
| 用)/Name / Details of practical experience / Contents of course | 経験に基づき初年次セミナー「Rhythms of Life」を担当する。 |
| | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| | 授業内容 / Contents |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | 授業内容 / Contents オリエンテーション (対面)「Rhythms of Life」 |
| 授業計画詳細/Course Schedule 回(日時)/Time(date and time) | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 2024/4/9 | オリエンテーション (対面)「Rhythms of Life」 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 2024/4/9 2024/4/16 | オリエンテーション (対面)「Rhythms of Life」 輪読1-1 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 輪読1-2 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 2024/4/9 2024/4/16 2024/4/23 | オリエンテーション (対面)「Rhythms of Life」 輪読1-1 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 輪読1-2 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 フィールドワーク「The Golden Week and Social Jet Lag for Japanese University Students」 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 2024/4/9 2024/4/16 2024/4/23 2024/4/30 2024/5/7 | オリエンテーション (対面)「Rhythms of Life」 輪読1-1 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 輪読1-2 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 フィールドワーク「The Golden Week and Social Jet Lag for Japanese University Students」 中央図書館初年次セミナー「資料収集ガイダンス」 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 2024/4/9 2024/4/16 2024/4/23 2024/4/30 2024/5/7 | オリエンテーション (対面)「Rhythms of Life」 輪読1-1 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 輪読1-2 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 フィールドワーク「The Golden Week and Social Jet Lag for Japanese University Students」 中央図書館初年次セミナー「資料収集ガイダンス」 輪読2-1 (対面)「Circadian Rhythms in Man」 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 2024/4/9 2024/4/16 2024/4/23 2024/4/30 2024/5/7 | オリエンテーション (対面)「Rhythms of Life」 輪読1-1 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 輪読1-2 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 フィールドワーク「The Golden Week and Social Jet Lag for Japanese University Students」 中央図書館初年次セミナー「資料収集ガイダンス」 輪読2-1 (対面)「Circadian Rhythms in Man」 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 2024/4/9 2024/4/16 2024/4/23 2024/4/30 2024/5/7 2024/5/14 | オリエンテーション (対面)「Rhythms of Life」 輪読1-1 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 輪読1-2 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 フィールドワーク「The Golden Week and Social Jet Lag for Japanese University Students」 中央図書館初年次セミナー「資料収集ガイダンス」 輪読2-1 (対面)「Circadian Rhythms in Man」 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 2024/4/9 2024/4/16 2024/4/23 2024/4/30 2024/5/7 | オリエンテーション (対面)「Rhythms of Life」 輪読1-1 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 輪読1-2 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 フィールドワーク「The Golden Week and Social Jet Lag for Japanese University Students」 中央図書館初年次セミナー「資料収集ガイダンス」 輪読2-1 (対面)「Circadian Rhythms in Man」 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 2024/4/9 2024/4/16 2024/4/23 2024/4/30 2024/5/7 2024/5/14 | オリエンテーション (対面)「Rhythms of Life」 輪読1-1 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 輪読1-2 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 フィールドワーク「The Golden Week and Social Jet Lag for Japanese University Students」 中央図書館初年次セミナー「資料収集ガイダンス」 輪読2-1 (対面)「Circadian Rhythms in Man」 輪読2-2 (対面)「Circadian Rhythms in Man」 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 2024/4/9 2024/4/16 2024/4/23 2024/4/30 2024/5/7 2024/5/14 | オリエンテーション (対面)「Rhythms of Life」 輪読1-1 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 輪読1-2 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 フィールドワーク「The Golden Week and Social Jet Lag for Japanese University Students」中央図書館初年次セミナー「資料収集ガイダンス」 輪読2-1 (対面)「Circadian Rhythms in Man」 輪読2-2 (対面)「Circadian Rhythms in Man」 輪読2-3 (対面)「Circadian Rhythms in Man」 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 2024/4/9 2024/4/16 2024/4/23 2024/4/30 2024/5/7 2024/5/14 2024/5/21 | オリエンテーション(対面)「Rhythms of Life」 輪読1-1(対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 輪読1-2(対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 フィールドワーク「The Golden Week and Social Jet Lag for Japanese University Students」中央図書館初年次セミナー「資料収集ガイダンス」 輪読2-1(対面)「Circadian Rhythms in Man」 輪読2-2(対面)「Circadian Rhythms in Man」 輪読2-3(対面)「Circadian Rhythms in Man」 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 2024/4/9 2024/4/16 2024/4/23 2024/4/30 2024/5/7 2024/5/14 2024/5/21 | オリエンテーション (対面)「Rhythms of Life」 輪読1-1 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 輪読1-2 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 フィールドワーク「The Golden Week and Social Jet Lag for Japanese University Students」 中央図書館初年次セミナー「資料収集ガイダンス」 輪読2-1 (対面)「Circadian Rhythms in Man」 輪読2-2 (対面)「Circadian Rhythms in Man」 輪読2-3 (対面)「Circadian Rhythms in Man」 対読1 (対面)「Circadian Rhythms in Drinking Behavior and Locomotor Activity of Rats Are Eliminated by Hypothalamic Lesions」 抄読2 (対面)「Suprachiasmatic Nucleus: Use of 14C-Labeled Deoxyglucose Uptake as a |
| 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 2024/4/9 2024/4/16 2024/4/23 2024/4/30 2024/5/7 2024/5/14 2024/5/21 2024/5/28 2024/6/4 | オリエンテーション (対面)「Rhythms of Life」 輪読1-1 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 輪読1-2 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 フィールドワーク「The Golden Week and Social Jet Lag for Japanese University Students」 中央図書館初年次セミナー「資料収集ガイダンス」 輪読2-1 (対面)「Circadian Rhythms in Man」 輪読2-2 (対面)「Circadian Rhythms in Man」 輪読2-3 (対面)「Circadian Rhythms in Man」 対読1 (対面)「Circadian Rhythms in Drinking Behavior and Locomotor Activity of Rats Are Eliminated by Hypothalamic Lesions」 抄読2 (対面)「Suprachiasmatic Nucleus: Use of 14C-Labeled Deoxyglucose Uptake as a Functional Marker」 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 2024/4/9 2024/4/16 2024/4/23 2024/4/30 2024/5/7 2024/5/14 2024/5/21 2024/5/28 | オリエンテーション(対面)「Rhythms of Life」 輪読1-1(対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 輪読1-2(対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 フィールドワーク「The Golden Week and Social Jet Lag for Japanese University Students」 中央図書館初年次セミナー「資料収集ガイダンス」 輪読2-1(対面)「Circadian Rhythms in Man」 輪読2-2(対面)「Circadian Rhythms in Man」 輪読2-3(対面)「Circadian Rhythms in Man」 対読1(対面)「Circadian Rhythms in Drinking Behavior and Locomotor Activity of Rats Are Eliminated by Hypothalamic Lesions」 抄読2(対面)「Suprachiasmatic Nucleus: Use of 14C-Labeled Deoxyglucose Uptake as a Functional Marker」 抄読3(対面)「A Mutation of the Circadian System in Golden Hamsters」 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 2024/4/9 2024/4/16 2024/4/23 2024/4/30 2024/5/7 2024/5/14 2024/5/21 2024/5/28 2024/6/4 | オリエンテーション (対面)「Rhythms of Life」 輪読1-1 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 輪読1-2 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 フィールドワーク「The Golden Week and Social Jet Lag for Japanese University Students」 中央図書館初年次セミナー「資料収集ガイダンス」 輪読2-1 (対面)「Circadian Rhythms in Man」 輪読2-2 (対面)「Circadian Rhythms in Man」 輪読2-3 (対面)「Circadian Rhythms in Man」 対読1 (対面)「Circadian Rhythms in Drinking Behavior and Locomotor Activity of Rats Are Eliminated by Hypothalamic Lesions」 抄読2 (対面)「Suprachiasmatic Nucleus: Use of 14C-Labeled Deoxyglucose Uptake as a Functional Marker」 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 2024/4/9 2024/4/16 2024/4/23 2024/4/30 2024/5/7 2024/5/14 2024/5/21 2024/5/28 2024/6/18 2024/6/18 | オリエンテーション(対面)「Rhythms of Life」 輪読1-1(対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 輪読1-2(対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 フィールドワーク「The Golden Week and Social Jet Lag for Japanese University Students」 中央図書館初年次セミナー「資料収集ガイダンス」 輪読2-1(対面)「Circadian Rhythms in Man」 輪読2-2(対面)「Circadian Rhythms in Man」 輪読2-3(対面)「Circadian Rhythms in Man」 対読1(対面)「Circadian Rhythms in Drinking Behavior and Locomotor Activity of Rats Are Eliminated by Hypothalamic Lesions」 抄読2(対面)「Suprachiasmatic Nucleus: Use of 14C-Labeled Deoxyglucose Uptake as a Functional Marker」 抄読3(対面)「A Mutation of the Circadian System in Golden Hamsters」 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 2024/4/9 2024/4/16 2024/4/23 2024/4/30 2024/5/7 2024/5/14 2024/5/21 2024/5/28 2024/6/4 2024/6/18 | オリエンテーション (対面)「Rhythms of Life」 輪読1-1 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 輪読1-2 (対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 フィールドワーク「The Golden Week and Social Jet Lag for Japanese University Students」中央図書館初年次セミナー「資料収集ガイダンス」 輪読2-1 (対面)「Circadian Rhythms in Man」 輪読2-2 (対面)「Circadian Rhythms in Man」 輪読2-3 (対面)「Circadian Rhythms in Man」 対読1 (対面)「Circadian Rhythms in Drinking Behavior and Locomotor Activity of Rats Are Eliminated by Hypothalamic Lesions」 が読2 (対面)「Suprachiasmatic Nucleus: Use of 14C-Labeled Deoxyglucose Uptake as a Functional Marker」 が読3 (対面)「A Mutation of the Circadian System in Golden Hamsters」 が読4 (対面)「Transplanted Suprachiasmatic Nucleus Determines Circadian Period」 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 2024/4/9 2024/4/16 2024/4/23 2024/4/30 2024/5/7 2024/5/14 2024/5/21 2024/5/28 2024/6/4 2024/6/11 2024/6/18 2024/6/25 | オリエンテーション(対面)「Rhythms of Life」 輪読1-1(対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 輪読1-2(対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 フィールドワーク「The Golden Week and Social Jet Lag for Japanese University Students」 中央図書館初年次セミナー「資料収集ガイダンス」 輪読2-1(対面)「Circadian Rhythms in Man」 輪読2-2(対面)「Circadian Rhythms in Man」 輪読2-3(対面)「Circadian Rhythms in Man」 対読2(対面)「Circadian Rhythms in Man」 が読2(対面)「Suprachiasmatic Nucleus: Use of 14C-Labeled Deoxyglucose Uptake as a Functional Marker」 抄読3(対面)「A Mutation of the Circadian System in Golden Hamsters」 抄読4(対面)「Transplanted Suprachiasmatic Nucleus Determines Circadian Period」 抄読5(対面)「Chronic jet-lag increases mortality in aged mice」 抄読6(対面)「Recovery from Age-Related Infertility under Environmental Light-Dark |
| 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 2024/4/9 2024/4/16 2024/4/23 2024/4/30 2024/5/7 2024/5/14 2024/5/21 2024/5/28 2024/6/18 2024/6/18 | オリエンテーション(対面)「Rhythms of Life」 輪読1-1(対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 輪読1-2(対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 フィールドワーク「The Golden Week and Social Jet Lag for Japanese University Students」 中央図書館初年次セミナー「資料収集ガイダンス」 輪読2-1(対面)「Circadian Rhythms in Man」 輪読2-2(対面)「Circadian Rhythms in Man」 輪読2-3(対面)「Circadian Rhythms in Man」 対読1(対面)「Circadian Rhythms in Drinking Behavior and Locomotor Activity of Rats Are Eliminated by Hypothalamic Lesions」 抄読2(対面)「Suprachiasmatic Nucleus: Use of 14C-Labeled Deoxyglucose Uptake as a Functional Marker」 抄読3(対面)「A Mutation of the Circadian System in Golden Hamsters」 抄読4(対面)「Transplanted Suprachiasmatic Nucleus Determines Circadian Period」 抄読5(対面)「Chronic jet-lag increases mortality in aged mice」 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 2024/4/9 2024/4/16 2024/4/23 2024/4/30 2024/5/7 2024/5/14 2024/5/21 2024/5/28 2024/6/4 2024/6/11 2024/6/18 2024/6/25 | オリエンテーション(対面)「Rhythms of Life」 輪読1-1(対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 輪読1-2(対面)「the 2017 Nobel Prize in Physiology or Medicine press release」 フィールドワーク「The Golden Week and Social Jet Lag for Japanese University Students」 中央図書館初年次セミナー「資料収集ガイダンス」 輪読2-1(対面)「Circadian Rhythms in Man」 輪読2-2(対面)「Circadian Rhythms in Man」 輪読2-3(対面)「Circadian Rhythms in Man」 対読2(対面)「Circadian Rhythms in Man」 が読2(対面)「Suprachiasmatic Nucleus: Use of 14C-Labeled Deoxyglucose Uptake as a Functional Marker」 抄読3(対面)「A Mutation of the Circadian System in Golden Hamsters」 抄読4(対面)「Transplanted Suprachiasmatic Nucleus Determines Circadian Period」 抄読5(対面)「Chronic jet-lag increases mortality in aged mice」 抄読6(対面)「Recovery from Age-Related Infertility under Environmental Light-Dark |

| 学期 / Semester | 2024年度/Academic Year 前期 /First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 5 |
|---|--|---|-------------------------|
| 開講期間 / Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | |
| 必修選択/Required / Elective | 必修,選択,自由/required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20240581003066 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | | |
| 授業科目名/Course title | 初年次セミナー(医・保・歯合 | 同)/First-Year Seminar | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 永野 健一/NAGANO Kenichi | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 永野 健一/NAGANO Kenichi | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s) | 永野 健一/NAGANO Kenichi | | |
| 科目分類 / Course Category | 数巻ゼミナー 科日 数巻ゼミナ | | 選択科日 / Flactive Courses |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | ^{1, 2, 3, 4} 学部問い合わせのこと | 開我ルグ感 / Course Style | /A E / Comman |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | 医学科・保健学科・歯学科1年生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | | | |
| 担当教員Eメールアトレス/E-mail address | k-nagano@nagasaki-u.ac.jp 歯学部教育研究棟(A棟)1F 口腔 | ····································· | |
| 担当教員研究室/Office ———————————————————————————————————— | | ᄗᄵᅸᆍᆉᄁᆂᆙᅠᄱᇧᆂᅩᄢ | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-7646 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 月~木 17:00 - 19:00 Eメールによる質問は随時受け付け | +≠ ♂ | |
| | | | 。あるテーマについて共同で |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 医学科・保健学科・歯学科混成グループによる多職種連携学習を行う。あるテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 | | |
| 授業到達目標/Course goals | 2) 科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4) 医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6) 医療関係諸職種の役割、機能について理解する。 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 河田的能力/Generic Competence 倫理組/Fthics 多様性の理解/Understanding | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 成績評価の対象: 全授業の内、3/4以上の出席で成績評価の対象とします。 成績評価の基準: 授業参加度(20%)、授業への取り組み方(20%)、及び成果物(プレゼンテーション、最終レポート)の内容(各30%)を元に総合的に評価します。 | | |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson | e 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | と。(2h) | テーマに関して、Webサイトや参考文習、及び情報収集を追加で行う等に | |

| キーワード/Keywords | 多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア |
|--|---|
| 教科書・教材・参考書/Materials | 特に指定はしませんが、必要があれば授業の中で適宜提示します。 |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@nl.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考/Remarks | 授業は対面形式を基本としますが、状況によってオンライン形式に変更する場合もあります。その場合は事前にLACSで連絡します。 |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 「長大生のためのラーニングティップス」 |
| 子主・ハウスクセーク/Message Tot Students | https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか | Y |
| (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | |
| | 永野 健一/東京医科歯科大学歯学部附属病院及び一般開業歯科医での勤務経験、長崎大学付属病 |
| 同内谷(美務経験のある教員による授業科目のが使用)/Name / Details of practical experience / | 院での病理診断経験 / 上記実務経験に基づき、問題抽出・解決能力や情報収集、プレゼンテーション手法の習得を指導する。 |
| Contents of course | フェルの自分を担待する。 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | オリエンテーション(授業内容・方針の説明、自己紹介、グループ分け):対面 |
| 第2回 | Powerpoint プレゼンテーションの作成、発表:対面 |
| 第3回 | 図書館資料収集ガイダンス:対面 |
| 第4回 | グループワーク、ディスカッション:対面 |
| 第5回 | グループワーク、ディスカッション:対面 |
| 第6回 | グループワーク、ディスカッション、発表資料作成:対面 |
| 第7回 | 中間発表1:対面 |
| 第8回 | グループワーク、ディスカッション:対面 |
| 第9回 | グループワーク、ディスカッション:対面 |
| 第10回 | グループワーク、ディスカッション、発表資料作成:対面 |
| 第11回 | 中間発表2:対面 |
| 第12回 | グループワーク、ディスカッション:対面 |
| 第13回 | グループワーク、ディスカッション、発表資料作成:対面 |
| 第14回 | プレゼンテーション発表会:対面 |
| 第15回 | 最終レポート作成:対面 |

| 学期 / Semester | 2024年度/Academic Year 前期 /First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月/Mon 5 | |
|---|--|--|-----------------------|--|
| 開講期間 / Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | | |
| 必修選択/Required / Elective | 必修,選択,自由/required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 | |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003067 | 科目番号 / Course code | 05810030 | |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | | | |
| 授業科目名/Course title | 初年次セミナー(医・保・歯合 | 同)/First-Year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 叶井 里歩/KANAI Riho | | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 叶井 里歩 / KANAI Riho | | | |
| / Instructor in charge of the course 授業担当教員名 (オムニバス科目等) | 叶井 里歩 / KANAI Riho | | | |
| / Instructor(s) | | | | |
| 科目分類/Course Category | 教養ゼミナール科目,教養ゼミナ | ール科目,大学院科目[構造],自由 | 選択科目/Elective Courses | |
| 対象年次/Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態/Course style | 演習/Seminar | |
| 教室/Class room | 学部問い合わせのこと | | | |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | 医学科・保健学科・歯学科1年生 | | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | r-kanai nagasaki-u.ac.jp(メー | -ルをする際は、 を@に置き換えて | ください。) | |
| 担当教員研究室/Office | 医歯薬学総合研究科先進口腔医療 | 用発学分野 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-7621(内線7621) | | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 毎週水曜日13時~17時 | | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | | ループによる多職種連携学習を行う 互いを学び、互いから学ぶとともに | | |
| 授業到達目標/Course goals | 1)大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高める。 2)科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3)学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4)医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5)ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6)医療関係諸職種の役割、機能について理解する。 | | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society | | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers | | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 収集状況・分析など),プレゼンテ | 方やディスカッション(初年次セミナ ーション(わかりやすい資料,話の構 評価し,最終的な成績評価は「合」「 。 | 成,説得力など),レポート(構 | |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | | |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | 事前学修:講義時に予告する次回のテーマについて、自主的にインターネット、文献などで情報を収集すること。(2h) 事後学修:講義後は、課題に取り組むとともに、復習として授業中のノートを整理すること。(2h) | | | |
| キーワード/Keywords | 多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア | | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 担当教員の指示による。 | | | |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | | | | |
| | | | | |

| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
|--|---|
| 備考/Remarks | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | Υ |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course | 叶井里歩/大学病院及び関連病院における有床義歯を主体とした歯科補綴治療/臨床および技工の経験を生かした実践的な情報・知識に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、課題の探究方法を提供する。 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | オリエンテーション、授業ガイダンス(対面) |
| 第2回 | 資料収集ガイダンス (対面) |
| 第3回 | 発表テーマの検討(1):グループディスカッション(対面) |
| 第4回 | 発表テーマの検討(2):グループディスカッション(対面) |
| 第5回 | 発表テーマに関する情報収集(1):グループワーク(対面) |
| 第6回 | 発表テーマに関する情報収集(2):グループワーク(対面) |
| 第7回 | 発表テーマに関する情報収集(3):グループワーク(対面) |
| 第8回 | 発表テーマに関する情報収集(4):グループワーク(対面) |
| 第9回 | 発表テーマに関する情報収集(5):グループワーク(対面) |
| 第10回 | 発表スライドの作成(1):グループワーク(対面) |
| 第11回 | 発表スライドの作成(2):グループワーク(対面) |
| 第12回 | 発表の予行演習:グループディスカッション(対面) |
| 第13回 | 初年次セミナー発表会(1)(対面) |
| 第14回 | 初年次セミナー発表会(2)(対面) |
| 第15回 | 個人レポートの作成 (オンライン) |

| 学期/Semester | 2024年度 / Academic Year 前期 | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 5 |
|--|---|---|---|
| | /First Semester | теп (дину) зају (от тоа | / ₃ / |
| 開講期間 / Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | |
| 必修選択/Required / Elective | 必修,選択,自由/required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003068 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード/Numbering code | GEFY 15021_001 | | |
| 授業科目名/Course title | 初年次セミナー(医・保・歯合 | 同)/First-Year Seminar | |
| 編集担当教員/Instructor in charge of the course syllabus | 川下 由美子/Kawashita Yumiko | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 川下 由美子/Kawashita Yumiko | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 川下 由美子/Kawashita Yumiko | | |
| / Instructor(s) 科目分類 / Course Category | | 11 秋日 七卷胶秋日 [捷选] 白木 | 選出利日 / Flootive Courses |
| 対象年次 / Intended year | 教養セミノール科目,教養セミノ 1,2,3,4 | ール科目,大学院科目[構造],自由 講義形態/Course style | 選択科目 / Elective courses 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | ^{1, 2, 3, 4} 学部問い合わせのこと | 調義形態 / Course Style | /典白 / Sellittidi |
| | 字部同い音のせのこと 医学科・保健学科・歯学科1年生 | | |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | 医子行・床庭子行・園子行中土 yumiko-t@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Office | 長崎大学病院 8 階口腔保健学医局 | 0 1 5 来 | |
| 担当教員TEL/Tel | | 0 1 3 闰 | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | yumiko-t@nagasaki-u.ac.jp | | |
| | | | あるテーマについて共同で |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | | 互いを学び、互いから学ぶとともに | |
| 授業到達目標/Course goals | 2)科学的な思考能力や立案能力 3)学習テーマの課題遂行を通し ンテーション、レポートなどの基 4)医療に携わる者として必要な 要なマナーを習得する。 5)ものの見方や考え方の多様性 | て、問題抽出・解決能力や情報収集本的学習技能を習得する。 コミュニケーション能力とともに良 を理解し、リーダーシップ、フォロ | 、ディスカッション、プレゼ 好な人間関係を築くために必 |
| | 6)医療関係諸職種の役割、機能 | について埋解する。 | |
| しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than | 汎用的能力/Generic Competend | | 理解 / Understanding |
| knowledge and skills acquired mainly through | Diversity 土种性 / Autonomy | 協働性/Cooperativeness 考 或社会への関心/Interest in inter | えをやり取りする力 / Ability |
| the course (pick 1 to 3) | | | , |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | degree of comprehension of the B.多角的に考えるために他者とvarious perspectives C.技能修得のために実践する活 D.問題解決のために知識を総合 utilize knowledge to solve pro E.上記以外の学生の思考の活性 students' thinking other than F.教員からの講義のみで構成さ | 化を促す授業手法 / Teaching the above れる br>/ It consists only of le | ink over Iving others to think from for acquiring skills s that comprehensively methods to stimulate ectures from teachers |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 収集状況・分析など),プレゼンテ | 方やディスカッション(初年次セミナ ーション(わかりやすい資料,話の構 評価し,最終的な成績評価は「合」「 。 | 成,説得力など),レポート(構 |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | (1H)。 事後学修として、講義中にとった | ョンの課題にしたいことを自分なり メモをもとにノートを作成する。まィアや資料を調べて知識を深める(| た、プレゼンテーションの質 |
| キーワード/Keywords | 多職種連携、生命、健康、医療、 | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 特になし | | |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | | | |

| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
|--|---|
| 備考/Remarks | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | Υ |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course | 川下由美子/歯学部学生を対象にした衛生学、予防歯科学と社会歯科学の講義、大学病院歯科診療と臨床研究/学会発表と論文作成の経験を活かして、相手にわかりやすく伝えられるように口頭発表ならびに文章作成に取り組ませる。 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | 初年次セミナーの意義と授業形態について確認し、これからの実施方法について決定する(対面) |
| 第2回 | リサーチクエスチョンからプレゼンテーションの課題を設定する(対面) |
| 第3回 | 図書館資料収集ガイダンス (対面) 到達目標:情報収集の方法を知る |
| 第4回 | プレゼンテーションはどのような方法で行われるかについて。(対面) 情報収集における情報リテラシーとモラルについて。さらに、chat GPTの使い方について。 |
| 第5回 | どのようにしてディスカッションは行われるべきかを確認しそれに準じてプレゼンテーションを作り上げていく。(対面) |
| 第6回 | レポートの書き方 (対面) 論理的に文章を書くとはどういうことなのかを知り体験する。 |
| 第7回 | 文章の読解力とは何かを知り、これからの学修に生かせるようにする。(対面) |
| 第8回 | 情報収集とプレゼンテーションの作成 (対面) |
| 第9回 | 情報収集とプレゼンテーションの作成 (対面) |
| 第10回 | 情報収集とプレゼンテーションの作成 (対面) |
| 第11回 | 中間発表(対面) |
| 第12回 | プレゼンテーションの見直し、変更や追加(対面) |
| 第13回 | プレゼンテーションのリハーサル(対面) |
| 第14回 | 3 班合同の発表会(対面) |
| 第15回 | 発表の振り返り(対面) |
| | |

| 学期 / Semester | 2024年度/Academic Year 前期 /First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月/Mon 5 |
|---|---|---|-------------------------|
| 開講期間 / Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | |
| 必修選択 / Required / Elective | 必修,選択,自由 / required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003069 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | | |
| 授業科目名 / Course title | 初年次セミナー(医・保・歯合 | 同)/First-Year Seminar | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the | | | |
| course syllabus | 小牧 博也 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 小牧 博也 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s) | 小牧 博也 | | |
| 科目分類 / Course Category | | | 選択科目 / Flective Courses |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | 1, 2, 3, 4 学部問い合わせのこと | 開我ルグ感 / Course Style | /A E / Comman |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | 医学科・保健学科・歯学科1年生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | komaki@nagasaki-u.ac.jp | | |
| | 矯正歯科 | | |
| 担当教員研究室/Office 担当教員TEL/Tel | | | |
| | 17時以降 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | | ループによる多職種連携学習を行う。 ループによる多職種連携学習を行う。 | あるテーマについてサロブ |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | | ループによる多職性建携子首を行う。 互いを学び、互いから学ぶとともに | |
| 授業到達目標/Course goals | 2)科学的な思考能力や立案能力を涵養する。 3)学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を習得する。 4)医療に携わる者として必要なコミュニケーション能力とともに良好な人間関係を築くために必要なマナーを習得する。 5)ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。 6)医療関係諸職種の役割、機能について理解する。 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 辺田的能力 / Generic Competence 倫理観 / Fthics 多様性の理解 / Understanding | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over Activities involving others to think from various perspectives D.問題解決のために実践する活動 degree of comprehension of the contents on practice for acquiring skills D.問題解決のために実践する活動 degree of comprehension of the contents on practice for acquiring skills D.問題解決のために実践する活動 degree of comprehension of the contents on practice for acquiring skills D.問題解決のために実践する活動 etal contents on practice for acquiring skills D.問題解決のために実践する活動 degree of comprehension of the contents on practice for acquiring skills D.問題解決のために実践する活動 etal contents on practice for acquiring skills D.問題解決のために実践する活動 degree of comprehension of the contents on practice for acquiring skills D.問題解決のために実践する活動 etal contents on practice for acquiring skills D.問題解決のために実践する活動 etal contents on practice for acquiring skills D.問題解決のために実践する活動 etal contents on practice for acquiring skills | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 収集状況・分析など),プレゼンテ | ーション(わかりやすい資料,話の構 評価し,最終的な成績評価は「合」「 | 成,説得力など),レポート(構 |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | グループワーク等の前提となる事前学習では、授業で紹介するWebサイトや参考文献からの情報収集を行います。(2h)事後学習では、授業で話し合った内容をもとに、追加の情報収集を行います。(2h) | | |
| キーワード/Keywords | 多職種連携、生命、健康、医療、福祉、介護、地域包括ケア、平和、福祉、ボランティア、長崎、プラネタリーヘルス | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 学生が決定したテーマの書籍 | | |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | | | |

| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@nl.nagasaki-u.ac.jp |
|--|---|
| 備考/Remarks | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか | v |
| (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course | 小牧博也 / 長崎大学病院での勤務経験に基づき,医療と教育の両面から解説する。 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 4/8(月) | 初年次セミナーの趣旨や日程、進み方について 担当教官の自己紹介「対面」 |
| 第2回 4/15(月) | 資料収集ガイダンス「対面」 |
| 第3回 4/22(月) | 各学生の自己紹介(パワーポイントを用いて) 質疑応答「対面」 |
| 第4回 5/13(月) | 「ラーニングティップス」および「学びのガイダンス」動画供覧「対面」 |
| 第5回 5/20(月) | グループ分け(3つ) テーマの決定 各グループでの打ち合わせ「対面」 |
| 第6回 5/27(月) | テーマ調査の進行状況や計画案(なぜそのテーマにしたか、どういった資料を 用いるかも含めて)について報告「対面」 |
| 第7回 6/3(月) | テーマ調査の進行状況報告 発表資料作成「対面」 |
| 第8回 6/10(月) | テーマ調査の進行状況報告 発表資料作成、レポート作成開始「対面」 |
| 第9回 6/17(月) | テーマ調査の進行状況報告 発表資料作成、レポート作成「対面」 |
| 第10回 6/24(月) | 各グループの中間発表、質疑応答、討論「対面」 |
| 第11回 7/1(月) | テーマの再検討および決定 合同発表会の準備(グループ発表の形態によっては変更)「対面」 |
| 第12回 7/8(月) | 合同発表会の準備 最終レポート作成「対面」 |
| 第13回 7/16(火) | 合同発表会の予演会、討論「対面」 |
| 第14回 7/22(月) | 合同発表会(月曜グループ3班合同)「対面」 |
| 第15回 7/29(月) | 最終レポート作成「対面」 |
| | |

| | 2024年度 / Academic Year 前期 | | _ |
|---|---|------------------------------|--|
| 学期 / Semester | /First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月/Mon 5 |
| 開講期間 / Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | |
| 必修選択/Required / Elective | 必修,選択,自由 / required, | 単位数(一般/編入/留学)/Credits | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| が同島が / Nequired / Liective | elective, optional | (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003070 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | | |
| 授業科目名/Course title | 初年次セミナー(医・保・歯合 | 司)/First-Year Seminar | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the | 田上 直美/Tanoue Naomi | | |
| course syllabus | | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course | 田上 直美 / Tanoue Naomi | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s) | 田上 直美 / Tanoue Naomi | 田上 直美 / Tanoue Naomi | |
| 科目分類 / Course Category | 教養ゼミナール科目、教養ゼミナ | ール科目,大学院科目[構造],自由 | 選択科目 / Elective Courses |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習 / Seminar |
| 教室/Class room | 学部問い合わせのこと | | • |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) | | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | | | |
| 担当教員研究室/Office | | | |
| 担当教員TEL/Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | | | |
| 授業到達目標/Course goals | | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 | 汎用的能力/Generic Competend | | 理解 / Understanding |
| しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than | | | 全解 / Oliderstanding えをやり取りする力 / Ability |
| knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | | は社会への関心/Interest in inter | • |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 b. 別問題解決のために知識を総合的に活用する活動 c. 出記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 c. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される control to think over b. Activities involving others to think from various perspectives c. Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems c. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 c. Yes consisted in the students' thinking other than the above c. 教員からの講義のみで構成される c. Yes consisted in the students only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | | | |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | | | |
| キーワード/Keywords | | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | | | |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | | | |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students | | | |
| with disabilities) 備考/Remarks | | | |
| 抽号/Remarks 学生へのメッセージ/Message for students | | | |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか | | | |
| (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | | | |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教 | | | |
| 育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使 | | | |
| 用)/Name / Details of practical experience / | | | |
| Contents of course | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | 授業手法 / |

| | Introduction | A |
|------|--|--|
| 4/8 | (Face-to-Face) | ľa B |
| | Presentation methods | A |
| 4/15 | (Face-to-Face) | la l |
| | | A |
| 4/22 | About the means of collecting information (Face-to-Face) | ļ. · |
| | | B |
| 5/13 | Information collection | A |
| | (Face-to-Face) | В |
| _, | Intermediate announcement presentation | A |
| 5/20 | Theme decision | В |
| | (Face-to-Face) | |
| | Information collection | A |
| 5/27 | Preparation for presentation | B |
| | (Face-to-Face) | 5 |
| | Information collection | Δ |
| 6/3 | Preparation for presentation | B |
| | (Face-to-Face) | , |
| | Information collection | Δ |
| 6/10 | Preparation for presentation | l'A B |
| | (Face-to-Face) | В |
| | Information collection | Δ. |
| 6/17 | Preparation for presentation | В |
| | (Face-to-Face) | В |
| | Information collection | D |
| 6/24 | Preparation for presentation | D D |
| | (Face-to-Face) | ا |
| | Information collection | |
| 7/1 | Preparation for presentation | A |
| | (Face-to-Face) | В |
| | | A |
| 7/8 | Presentation and discussion | В |
| .,, | (Face-to-Face) | D |
| 7/22 | Presentation and discussion | _ |
| | (Face-to-Face) | D |
| 7/29 | Discussion | |
| | (Face-to-Face) | D |
| | Final Reports | |
| 8/5 | (Face-to-Face) | D |
| | (1 400 10 1 400) | |

| 学期 / Semester | 2024年度 / Academic Year 前期 /First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 5 |
|---|--|--|---|
| 開講期間 / Course duration | 2024/04/08 ~ 2024/09/29 | | |
| 必修選択 / Required / Elective | 必修,選択,自由/required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas) | 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード/Time schedule code | 20240581003070 | 科目番号 / Course code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEFY 15021_001 | 11Am 3. com/co com | |
| 授業科目名/Course title | 初年次セミナー(医・保・歯合 | 同)/First-Year Seminar | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the | | 13) | |
| course syllabus | 田上 直美/Tanoue Naomi | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | | | |
| /Instructor in charge of the course | 田上 直美/Tanoue Naomi | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | | | |
| / Instructor(s) | 田上 直美/Tanoue Naomi | | |
| 科目分類 / Course Category | 数春ゼミナール科日 数春ゼミナ | | |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | 学部問い合わせのこと | m我//恋 / Oourse Style | IXE 7 OCIIITIAI |
| | | | |
| 対象学生(クラス等) /Intended year (class) 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | 医学科・保健学科・歯学科1年生 t-pagmi@pagasaki-u ac ip | | |
| | t-naomi@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Office | 長崎大学病院 小児歯科学医局 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-7673 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 水曜日 12時~13時 あるいはt-naomi@nagasaki-u.ac. | in∧ ⊀ — II. | |
| | | <u> アペケール</u> ループによる多職種連携学習を行う | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | | 互いを学び、互いから学ぶとともに | |
| 授業到達目標/Course goals | ンテーション、レポートなどの基 4)医療に携わる者として必要な 要なマナーを習得する。 | て、問題抽出・解決能力や情報収集 本的学習技能を習得する。 コミュニケーション能力とともに良 | 好な人間関係を築くために必 |
| | 5) ものの見方や考え方の多様性 6) 医療関係諸職種の役割、機能 | を理解し、リーダーシップ、フォロ について理解する | リーンツノを発揮でさる。 |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competen Diversity 主体性 / Autonomy to exchange ideas 国際・地均 | ce 倫理観/Ethics 多様性の 協働性/Cooperativeness 考 或社会への関心/Interest in inter | |
| | | り自分で考えさせたりする活動 くbi | |
| | , · | contents to the lesson or to th 関わる活動 drivities invo | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | various perspectives C.技能修得のために実践する活 D.問題解決のために知識を総合 utilize knowledge to solve pro E.上記以外の学生の思考の活性 students' thinking other than | 動 str>/ Activities to practice 的に活用する活動 blems | for acquiring skills es that comprehensively methods to stimulate |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 初年次セミナーに対する取り組み 収集状況・分析など),プレゼンテ | 方やディスカッション(初年次セミ: ーション(わかりやすい資料,話の構 評価し,最終的な成績評価は「合」 | ナーへの積極的な参加,情報の i成,説得力など),レポート(構 |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| | 予習:予めLACS上に事前準備すべ | き内容を記載するので、それらに目 | を通し,準備したうえで講義 |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review | にのぞむこと。(2 h) | | |
| | 復習:参考資料を再読し、理解を | 確実にするよう努めること。(2h |) |
| キーワード/Keywords | 多職種連携、生命、健康、医療、 | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 参考書:災害ケースマネジメント | ガイドブック 津久井 進 著 | |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites | | | |

| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@nl.nagasaki-u.ac.jp |
|--|---|
| 備考/Remarks | 授業は対面形式とオンライン形式 (オンデマンド)のハイブリット型で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。 |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience | Y |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course | 田上直美/長崎大学での勤務経験に基づき,医療と教育の両面から解説する。 |
| 授業計画詳細/Course Schedule | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 4/8 | (対面) 本セミナーの目的と進め方(必須項目の説明) 自己紹介 |
| 第2回 4/15 | (対面)メインテーマについてグループ分け |
| 第3回 4/22 | (対面) プレゼンテーション方法について(アプリケーション等) |
| 第4回 5/13 | (対面)資料収集ガイダンス |
| 第5回 5/20 | (対面) インターネットでの情報収集 |
| 第6回 5/27 | (対面) 情報収集 |
| 第7回 6/3 | (対面) 情報収集 , テーマ内容に関するプレゼンテーション作成 |
| 第8回 6/10 | (対面)中間プレゼンテーションテーマの再検討,決定 |
| 第9回 6/17 | (対面) 発表に関する役割分担決定 情報収集,発表資料作成 |
| 第10回 6/24 | (対面) 情報収集,発表資料作成 |
| 第11回 7/1 | (対面) 情報収集,発表資料作成 |
| 第12回 7/8 | (対面) 情報収集,発表資料作成,学びに関するレポート提出 |
| 第13回 7/22 | (対面) 発表会,討論1 |
| 第14回 7/29 | (対面) 発表会,討論2 |
| 第15回 8/5 | (対面) 最終レポートの作成,提出 |